



#### 深川市の「花」…………カタクリ

北原白秋の歌碑のある丸山公園。雪解けとともに咲くカタクリの群生はすばらしく、道内でもこれほどの大群生はめずらしいといわれる。



#### 岩見沢市の「花」…………バラ

昭和43年に北海道開拓100年、市開基85年を記念して市民憲章が制定され、市の象徴としての市の花に「バラ」が選定されました。



#### 国見公園

音江連山の東部にある標高154mの展望台で、深川市内を一望できる公園。



#### 玉泉館跡地公園

明治37年から昭和54年まで温泉旅館「玉泉館」の庭園として親しまれていた跡地を市民のみなさまの憩いの場としてご利用いただけるよう改修・整備された日本庭園です。



国際ロータリー第2510地区・DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

2002-2003 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.5

# ガバナー月信

11月号  
November

2002-2003年度ガバナー GOVERNOR 小林 博 KOBAYASHI HIROSHI

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館6F 電話 011-219-2510 Fax 011-222-1526 E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp  
Odori-West 6, Ishikai Bldg. 6F, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0042 Japan Tel.81-11-219-2510 Fax.81-11-222-1526  
E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp

地区内にロータリアン3,600人が集う  
年に一度の地区大会 11月16日-17日

アグネス・チャン



RI会長代理

佐野 康博



第2580地区ガバナー

前川 昭一



第2500地区ガバナー

小船井 修一



第2570地区ガバナー

牛窪 栄吉

## 財団月間に寄せて 一襟を正す勇気をもとう



小林 博

書きにくいことだが、今回は「RI会長の謝礼」の問題を考えてみたい。「ロータリーの友」9月号（The Rotarianの9月号にも）にショッキングな記事が載っていた。2002年6月のRI理事会決定事項として、理事会はRI会長に対する謝意の表明（expression of appreciation）として2002-2003年度会長に米貨11万5千ドル、会長エレクトに8万ドル、並びに会長ノミニーに2万5千ドルを支払うことを承認したというのである。これは長年の慣習として行われてきたもののようで、今回初めて一般会員にも公開されることになったようである。果たしてこの慣習を一般会員はどう受けとめるであろうか？ 日本円に換算すると毎年2,600万円以上の謝金である。

2510地区におけるガバナーの公式訪問に先立つクラブ会長幹事との懇談会などの席上でも、日本のロータリーは国際ロータリーを脱退して独立のロータリー財団を発足させるべきであるという強硬な意見さえ出てきた。その背景にはロータリーの最上位組織（国際ロータリー〈RI〉とロータリー財団〈TRF〉）に対する不透明感があるのではないかと私は思う。不透明感が年を重ねることによって、無力感から不信感に繋がってしまう危険性がある。

私はガバナーとしての立場上、RI理事の板橋敏雄さんにさきに述べたRI理事会の6月決定についてのご意見をお伺いしたところ、すでに他のガバナーからも同じ様な意見を寄せられているとのこと。板橋RI理事は皆さんの声を次回のRI理事会には率直に申し伝えるとの確約をしてくださった。

問題は謝意の表現は当然なこととして、その金額が適当かどうかということである。この世界不況の中にあって、ロータリーがまじめなボランティア組織だからである。これからもロータリーが生き伸びるために、RIの会長、会長エレクト、並びに理事会の全員がまず襟を正し、1人ひとりの会員（ボトム）の声を謙虚に聞いてほしいと思ったのである。

我々はロータリー財団を心から支持するものである。国際ロータリーに対しても全く同じである。ただ誕生して100年近い歴史を顧みるとき、自らを厳しく裁く勇気を忘れてはいけないのではなからうか。万一誤りがあれば襟を正す勇気を持ってロータリーを健全なものとして発展させていかなければならない、その責任がすべてのロータリアンにあるように思う。

最後になったが11月は財団月間である。ロータリー財団の使命は「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的・文化交流プログラムを通じてロータリーの行動とロータリーの使命を遂行し、かつ世界の平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支持することである」となっている。

2510地区でもロータリー財団への年次寄附並びに恒久基金の総額は2001-2002年度、目標額32万ドルに対し298,736.64ドルで、1人当たりの寄附額は81.39ドルとなっている。これは全国平均の94ドルよりはすこし少ないが、世界の平均寄附額55ドルよりは明らかに高い。

2002-2003年度の地区目標額は前年度の32万ドルより下げて25万ドルとした。これは換算レートの変動、地区の経済的な背景などを考慮したものであるが、寄附額がいま不況とはいえ目標を超えることを願っている。

## 目次

ガバナーレター	小林 博	2	クラブ活動紹介	21
ロータリー財団月間にちなんで		3	札幌はまなすRC・七飯RC・苫小牧東RC	
文庫通信		4	骨髄バンク支援チャリティーバザー開催	竹原 巖 22
ロータリーの歴史に学ぶ(3)	西條正博	5	会員の声	23
詳しく知りたいロータリー財団	脇田 稔	6	川田憲秀(白老RC)・中川喬雄(札幌手稲RC)	
「ポリオ撲滅キャンペーン」について	川田憲秀	7	佐々木実(深川RC)	
ロータリーQ&A		8	事務所だより	24
ガバナー日記		9	掲示板	24
ガバナーとの対話		11	ワークショップに参加しよう!!	25
地区大会が間近になってきました!		14	9月会員増減数・出席率報告	26
地区大会プログラム		14	ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	26
地区大会記念ゴルフ大会一和やかに開催		15	訃報	26
地区活動紹介		16	11・12月地区カレンダー	27
職業奉仕委員会・家庭奉仕委員会・社会奉仕委員会・補助金委員会・国際親善奨学金委員会・友情交換委員会・GSE委員会				



## 財団の歴史、目標、組織の概要

国際ロータリー (RI) のロータリー (R) 財団は、6人目のRI会長アーチ・クランプ氏の提唱で1917年に基金として発足し、1928年国際大会で「ロータリー (R) 財団」と名付けられた。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった。財団の法人設立定款および細則に従って、R財団管理委員会が慈善的、教育的目的のためにのみ運営されている。

博愛、慈善、教育または人道的という特質を持つ明確かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民のあいだに理解と友好的関係を助長することを目標としている。

R財団事務総長はRI理事会によって選ばれたRI事務総長が当たり、RI理事会の承認を得た13名の管理委員会の委員と任務を遂行する。更に、RI理事会とR財団管理委員会は、各ガバナーに就任のかなり前に、地区R財団委員会を設置し、パストガバナー (PG) を委員長に任命することなどを決定している。

RI理事会とR財団管理委員会は、毎年11月を「ロータリー月間」とし、月間中全クラブは少なくとも一つの財団プログラムを実施し、プログラムの支援、推進、参加を行うよう示唆している。関連記事 (月信11月号6~7頁)

## R財団プログラムの概要

R財団のプログラムは次のようになっております。

### I. 教育的プログラムとして

#### 1. R財団国際親善奨学金：

RCの所在する他国で勉強または研修を受けるために授与されるもので、幾つかの種類が利用される。関連記事 (月信8月号7頁および22頁、9月号6頁、11月号18~19頁)。

#### 2. 大学教員のための補助金：

低所得国での高等教育を強化しながら、国際理解と友好を推進するための補助金で、教育とボランティア奉仕とを結び合わせたものである。

#### 3. 国際問題研究のためのロータリー・センター：

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のため、世界の名門八大学と提携し、7つの国際問題研究のための7つのセンターを設立し、70名のR世界平和奨学生を7つの各センターにそれぞれ10名を指定し、後援する。

### II. 文化交流プログラムとして

#### 研究グループ交換 (GSE)：

関連記事 (月信8月号7頁、10月号7頁、11月号11頁および20頁)

### III. 人道的プログラムとして

#### 1. 国際人道的プロジェクトのためのマッチング・グラント (同額補助金)：

RCと地区が他国のロータリアンと協力して人道的な世界社会奉仕プロジェクトを遂行するのを援助する。

#### 2. ヘルピング・グラント：

RCがない地域、あるいは地元RCがプロジェクト実施地に近付けない、または遠いという理由で、かなりの人数のロータリアンの参加と監督が得られない地域で国際奉仕プロジェクトを実施できるようにするための補助金支援である。

#### 3. 災害救援補助金：

地区はRIが承認する災害を支援する目的で地区財団活動資金をしようできる補助金。

#### 4. 保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金：

国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的、社会的向上発展を図るための補助金。

#### 5. 3-H計画準備助成金：

RCや地区が3-Hプロジェクトを計画するにあたっての事前準備に授与する助成金。

#### 6. ロータリー・ボランティアのための補助金：

RIロータリー・ボランティア・プログラムに登録しているロータリアン、財団学友、ローターアクターが他国で奉仕する場を見つけ4-8週間奉仕する計画をたてて申請する補助金。

#### 7. 世界社会奉仕カール・ミラー助成金と地区財団活動資金による世界社会奉仕助成金：

当初、元会長のカールP・ミラー夫妻の寄付により設立されたもので、2カ国以上のクラブと地区の参加する大規模な協同奉仕活動になる可能性をもつ国際奉仕プログラムを支援する。また地区財団活動資金を世界社会奉仕助成金を申請することもできる。

## 8. プレーン地域社会予防接種補助金（試験的プログラム）：

RI第6440地区PGジャック・プレーンによる大口寄付により設置されたもので、地域社会における予防接種を改善するプロジェクトを目的とし、米国内のRCだけを対象とした補助金。

## 9. 新人道的補助金：

この補助金は、地区財団活動資金を通じて調達されるので、地区財団活動資金を配分した地区において、R財団の使命とロータリーの理想にかなっているが、既存の財団プログラムの補助金授与条件を満たすことが出来ない斬新な国際奉仕プロジェクトをきかく、着手するときに受けることができる補助金。

## 10. 地域社会援助プログラム（CAP）（試験的プログラム）：

CAPは地元地域社会あるいは自国で、プロジェクトを実施する機会をロータリアンに与えるもので、クラブ/地区という共同体を充実させ、地元地域社会におけるロータリアンの関与を増し、その地域との関係を強化するための手段として、社会奉仕プロ

ジェクトに対し、資金を提供するものである。

関連記事（月信8月号7頁および9月号13頁）

## 11. 人道的物資の輸送補助金（試験的プログラム）：

RCおよび地区に寄贈された人道的物資と器材を国から国へ輸送する経費を賄う資金を提供する。

## 12. 平和プログラム：

協力、親善、開発を推進する創意あふれる活動を支援する補助金。

## 13. ポリオ・プラス：

RIの特別プログラムであり、ポリオの撲滅の証明が達成されるまで、他のすべてのプログラム以上に優先される。関連記事（月信9月号16頁）

## 14. ポリオ・プラス・パートナー：

ポリオ発生地域のロータリアンを援助し、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品を提供するなどポリオ撲滅が完了するために必要な資金の補足などを行う。詳細は「R財団要覧」など参照。

# ロータリー財団への寄付の概要

## 1. 一般寄付：年次プログラム基金、ポール・ハリス・フエローなど

地区が最大限プログラムに参加できるように地区の年次プログラム基金への寄付の60%は地区財団活動資金となり、残りの40%の国際財団活動資金は、他の財団プログラムの資金となる。但し、寄付年度の3年後にプログラムに使うことになる。（シエア・システム）

## 2. 用途指定寄付：ポリオ・プラスとポリオ・プラス・パ

ートナー、同額補助金、冠名奨学金

## 3. 基金：恒久基金（遺贈など）、冠名奨学金基金、冠名基金など

尚、R財団が自発的寄付の基礎のうえに発展してきた事実を鑑み、財団への寄付は税制上の優遇措置を受けることができる場合もある。

# 文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 先輩ロータリアンの主張から

### ◎ 「ロータリーの良さ」

山本爲三郎 ロータリーの友：1954・5月 1p

### ◎ 「ロータリーは何故必要か」

絹川 清 ロータリーの友：1954・12月 1p

### ◎ 「ロータリアンになってどんな得(とく)があるか？(1)(2)(3)」

茂地 庵 ロータリーの友：1953・10・11・12月 5p

### ◎ 「会員はクラブの事業に対してどの程度の責任を負うか(シンポジウム)」

ロータリーの友：1962・6月 2p

### ◎ 「ロータリー精神の探求」

長瀬富郎 ロータリーの友：1956・4月 2p

### ◎ 「ロータリーの質と量について いまやロータリーの原石を磨くと」

直木太一郎 ロータリーの友：1960・8月 2p

### ◎ 「ロータリーの質と量について 質と量はロータリーの車の両輪」

柏原孫左衛門 ロータリーの友：1960・8月 2p

### ◎ 「‘心の温かさ’こそロータリーの推進力」

松本兼二郎 ロータリーの友：1973・6月 4p

### ◎ 「指導者道一愛はおしみなくー」

佐々木統一郎 1973 3p

### ◎ 「口あいてはらわたみせあう柘榴かな」

今田 恵 ロータリーの友：1968・3月 4p  
(ききて 富永賢吉)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

# ロータリーの歴史に学ぶ(3)

.....地区研修リーダー 西條正博 (札幌RC PG)

次の名場面を何かで読んだり、あるいは、聴いたりした記憶がありませんか？

「1908年のある夕べ、ミネアポリスの理髪店の椅子から、その組んでいた長い脚を解いて、ひょう然と戸外に現われたシェルドンの頭脳は、まさに『最もよくサービスをなす者は最も多くを利益す』の思想を鍛錬しておえていた。」

これは、ポール・ハリス著、米山梅吉訳「ロータリーの理想と友愛 (THIS ROTARIAN AGE) の、第8章天の佑 (タスケ) の5頁を割いて、ミシガン生れのアーサー・フレデリック・シェルドンの標語が生まれた経緯を詳細に記述した文章のなかの一節です。

ポール・ハリスは更に続けて

「最も善くサービスを為す者は最も多くを利益す」の標語は、世俗に過ぎはせぬかという非難もある。またシェルドンがこの思想の中に観念した報酬とは物質的なるものか、それとも精神的なるものかと問う人がある。」と、この標語に対する疑問をとり上げて、

「著者\*ポール・ハリス)の信ずるところによれば、シェルドンは彼自身に関するかぎり、いわゆる精神的報酬に主眼をおくものである。ただし彼の目的は、最大多数の人々に最大限の幸福をもたらすにあって、その最大多数の人々は物質的利益に多くの関心をもつという事実を彼はよく認識していた。故に彼の目標とした人々はこの物質的利益を追求する人々であるということになる。」

と解説しております。

どのような動機によって、シェルドンは、サービスという概念に到達したのでしょうか。

「あたかも消費者のためには『消費者は自ら守れ』の原則が適用され、悪意と不信用とが実業上の競争を特質付けていた当時であり、被傭者の福祉の如きは全然顧みられなかった当時であったが、シェルドンはかかる一般の通弊の

うちに或る注目すべき異例があることを発見したのである。それは寛容を以て適正公明に経営された商店または会社の中に、最も成功しているものがあるという事実であった。ここにおいて彼はその成功の秘訣が何処にあるかを考究した結果、従来の印象を次第に打消して新たな断定を下した。曰く永続的成功を保証する唯一の信頼すべき方法がある。よく他人のために尽すこと即ちサービスがそれであると。」

「他人が漠然と考えていたことをシェルドンは明確に把握したのである。即ち成功は無慈悲なる貪らんや我利の根性に依存するのではなく、サービスの法則が適用される所から生れる不可避の結果だと信じたのである。彼の見た所ではサービスの法則は、引力のそれの如く厳として誤りのない自然の法則であった。」

ポール・ハリスは、シェルドンがシカゴ・ロータリー・クラブに入会してきたことを「天の佑」と称賛したのであり、シェルドンの標語は、遂に、ロータリーのスローガンとなったのであります。

しかし、ミシガン大学の経営学の博士号を持ち、自分の考え方に信念をもっていたロータリーの哲人、シェルドンと、シカゴ法曹界の重鎮である弁護士、ロータリーの創設者であるポール・ハリスとの間には、次第に意見のくい違いを生ずるようになり、シェルドンは1930年にシカゴ・ロータリー・クラブを退会し、1935年にはこの世を去っています。シェルドンの墓碑には「経営の科学者・著述家・講演者」と刻まれているそうです。

ポール・ハリス著、「ロータリーの理想と友愛」の復刻版がロータリー文庫から発行されていますので未だ残部があるかも知れません。ご希望の方は直接文庫宛にご照会下さい。



# ((( 詳しく知りたいロータリー財団 )))



## 地区幹事 脇田 稔

本年4月14日の地区協議会分科会の会長部門において、横内隆文氏（江差RC会長）から、「地区財団活動資金が60%から50%に引き下がります。」という説明に関連して、次のような質問を頂いた。

質問1：経済が疲弊しており、寄附の増額を求めることも必要だが、ロータリー財団の運営に問題点はないか。

質問2：特に、米国市場における株価の乱高下は、ロータリー資産の運用に悪影響を及ぼしてはいないか。ということが骨子であった。

その場では地区から十分な回答ができなかったため、ガバナーエレクトが横内会長に改めて質問を纏めていただくよう依頼し、これを財団室長片岡暎子氏に仲介することとした。以下は、横内会長と片岡室長との間の質疑応答の概略であるが、きわめて詳細な質疑応答で、財団の運営を理解するために貴重な情報と考えられるので、財団月間に当たり、月信に掲載するものである。



江差RC会長  
横内 隆文

横内会長は、上記の質問に加えて、投資収益と運営費との関連性が良く理解できないこと、それが会員の耳に届いていないと思うこと、ロータリーの財団資金がどのようなファンドを通じて投資されているか情報が開示されるべきであること、という内容を主とする詳細な質問事項と共に、会員に不安を抱かせるような運営はロータリーに相応しいだろうか、情報が日本にだけ情報が流れないのだろうかという疑問をあげておられる。この質問書は、6月17日付で、国際ロータリー日本事務局財団室にファクスにて送付された。

これに対して、財団室長片岡暎子氏は7月1日付けて、横内氏の質問に対して以下のような回答をガバナー事務局に寄せられた。これは同日横内氏に送られた。

地区財団活動資金DDFが60%から50%になるのは、2006-07年度からであり、国際財団活動資金は不足しているが、地区財団活動資金の残額が多いことが理由であること。日本

の場合、奨学金の辞退が世界平均の2倍以上であるため、どうしても地区財団活動資金の残額が増えること。財団は寄付額よりはるかに多額の支出をしていて、これは投資収益によってまかなわれていること。財団運営費が増加しているのは、1999-2000年度から増進費を運営費に繰り入れたためであること。株の投資管理ならびに投資内容については、ロータリー財団発行の年次報告をご覧ください。ロータリーの友は地域雑誌なので、詳細については、ロータリー財団の公式出版物を読んでいただきたいこと。インターネットではさらに詳しい数字を公表していること。株価の下落については、RI事務総長が来日したとき、質問したが、株は下がったが、売っていないので、ペーパーロスに過ぎないとの回答であったこと。赤字を出したのは確かであり、予備費で補填し



RI日本事務局財団室長  
片岡 暎子（川口西RC）

たこと。質問1の経済が疲弊している、ということだが、ロータリー財団の希望は1人当たり100ドルの寄付なので、それほど難しいことではないのではないか。質問2の米国市場の株式乱高下はもちろんロータリー資産運用に悪影響を及ぼすが、慎重に運用するほかないのだと思う。必要なら、ロータリー財団年次報告を送る。以上が論旨であった。

これに対して、横内氏は、7月2日付で、ガバナー事務局に再度質問書を寄せられたので、ガバナー事務局はこれを財団室長片岡暎子氏あてにファクスで送付した。

横内氏の質問は、1) 疑問に答える情報が「年次報告書」のどの部分を指し示して、解釈はこの様になると、お答えいただきたかった。2) 現状がどの様なものか、また、①容認できないような投機対象に資金を提供していないか、②投資による収支が変化したとき、財団の資金運用がどのような方針で、どのような意志決定機関によって行われるのか、最終的に財団活動資金の支出が、将来どのように変化するのかわりたかった。このような内容を前文としたもので主な質問事項は以下のようになっている。

交換留学生を毎年のようにやりとりしているクラブから、「クラブにより負担が増える事にならないのか？」との質問が出ていること。財団奨学生に関する条件の緩和や、弾力的運営の可能性。2000-2001年度になり誓約金が10万ドルになっている点。事務総長はペーパーロスと言われだそうだが、株価が今後さらに下落するかもしれないこと。予備資金とは何か、ロータリーの友誌に出ている年次報告書には、記載がないこと。日本全国のロータリアンの希望寄付金額は1人当たり100ドルなのか。「慎重に運用するほかないのだと思います。」とは、財団の最高意志決定機関が、そのように述べているのか、それは、どの様にすれば確認できるのか。ロータリー財団年次報告は是非頂きたい。また、詳しい資料があったらお教えて欲しい。以上のように多岐にわたるものであった。

これに対し、片岡氏は7月2日に上記の質問に回答を寄せられた。

ロータリー財団は、読みきれないほどの情報を開示している。これは世界のロータリアンに、すべてを読めということではなく、必要な情報を引き出すことが出来るようにとの配慮である。国際ロータリーの理事会には19名のうち日本人は2名。その方針にしたがってロータリー財団管理委員会（日本人は1名）が資金を使う。財団は複数の投資会社を選んで監視している。財団が容認できないような投機対象に資金を提供するはずはないと確信している。投資収益が減れば、当然、活動を縮小せざるを得ないが、各地区が選択したDDFの用途を縮小するようなことはない。3年サイクルのシェア・システムのため、必ずしもすぐ縮小はできない。財団は3年前の寄付を使う。3年間投資に使えることが長所である。

疑問の点に関しては：交換留学生は地区のプログラムでロータリー財団のプログラムではないこと。1人の奨学生に480万円程度の寄付が必要で、貴重な寄付なので、慎重を期すに超したことはないと思う。財団は資産をインターネット他で公表しているのでいつでも確認可能である。100ドルの寄付は、各地区のロータリアン代表議員が参画した規定審議会決

定の2005年までの達成目標で、ロータリー財団の押し付けではない。予測不可能な経済の問題には答えることは難しい。地区またはロータリー・クラブが納得できるロータリー・プロジェクトを選択し、不足分を財団補助金で補うという方法もある。財団は国際奉仕と思込まれているが、地区内の社会奉仕プロジェクト（CAP——但し第2510地区では利用していない）も可能である。寄付をするだけが財団でもないし、寄付をして奨学生を派遣するだけが財団でもない、という点を理解していただきたい。

以上で質疑応答が終了している。

会員が、率直にロータリーの運営状況に質問することはロータリーの活性化につながるので良いことだと思う。今後も活発な討論が望まれる。ただし、無駄のない議論をするために、予め、ロータリーのホームページないしは公式刊行物を十分調べる必要があると思われる。

ロータリー財団は、全世界の会員からの寄付による資金を運用して、多くの大規模な財団プログラムを実施しているの

で、ともすれば全容が理解しにくくなるのはやむを得ないところである。この記事が会員の理解の一助となれば幸いである。

片岡暎子注：2001-02年度年次報告が出版される頃、2000-01年度の年次報告の話で極めて恐縮ですが、2000-01年度年次報告日本語版には誤訳があります。そのため、横内様がロータリーに不信感を抱いたのではないかと、と思います。大きな点を挙げれば、年次報告16ページの「含み損は計上できない」、は「含み損は計上しなければならない」の誤訳で、同ページの1,380億ドルの投資損益は、1,380万ドルの投資損失の誤訳です。2001-02年度の年次報告については、出版前に日本側で訳文をチェックできないだろうか、という要望を出しております。2001-02年度の年次報告英文をみたところですが、今回はかなり分かりやすく改善されています。分かりやすい日本語に翻訳されていることを望みます。但し、残念ながら赤字です。



## 「ポリオ撲滅キャンペーン」について

川田憲秀（白老RC）

2005年国際ロータリーの創立100年を記念して、ポリオの世界撲滅宣言をしよう……との決議がRI理事会で決議されました……とのメールが入りました。地区の諸会議では、なにかと寄付の話題が多いと日頃不満に思っていました私は、「ポリオは数年前に、終結宣言をしたのではないか……」と思いました。

8月24日札幌ガーデンパレスで、小林ガバナーを中心にガバナー補佐の会議が開催されました。小林ガバナーは「経済環境が逆風のなか、ポケットマネーで済む金額ではない……」と困惑した表情で話しておりました。その席で、ビデオテープが渡されました。RIは、乱暴だ……景気の良い国のロータリークラブが、多く負担するべきだ……と帰り道、考えながら帰宅しました。帰宅後、ビデオテープを観ました。わずか6分の映像でしたが、ソマリア・アフガニスタンその他の内戦で、ワクチンを届けることが出来なかった国々の子供たちの目が、私を見ていました。ガバナーの苦悩・子供たちの目……私は、グループの会長さんの職場を訪問し、カバナー補佐の会議の様子・ビデオテープのことを話し、クラブ内で議論をしていただきたいとお願いして歩きました。

9月15日ごろ、偶然テレビでアフガニスタンの少女に、日本の義足製作所の方が、ボランティアで義足を作って届けている「ドキュメント」が放映されていました。義足製作の勉強をしている若い女性の研修生とこのボランティアをサポートするために、2人の19歳の女子大生の4人が、直接アフガニスタンに渡航できないので、まずイランに行きイランでアフガニスタンのピザをとって入国し

ました。義足を待っていたのは、地雷や爆弾で怪我をした少女ではなく、ポリオの犠牲者で歩くことが出来ない少女でした。つけてみましたが、上手くなく持ち帰って調整して、12月に再度日本から、持って行くそうです。少女の悲しげな顔……いつまでも、忘れることは出来ないと思いました。

このボランティアが滞在しているテントに、60名ほどの義足を作ってほしいという人が集まりました。地雷で足を無くした人・爆弾で負傷した人……国際的なボランティアから、それぞれ義足が支給されていましたが、痛くて使えないという人ばかりでした。一人分の義足を作るために、40万円くらいの費用が掛かるそうです。涙が出そうなくらい感動しました。

私ごとになりますが、私の母〔82歳〕は、中国で昭和16年6月列車の事故で左足を大腿部から切断しました。新婚数カ月21歳でした。何度も何度も死にたいと考えたようです。私の子供のころは、母の義足が押し入れに入れていました。重たくて、痛くて使えないと言っていました。松葉杖で3人の子供を生み育てました。昭和28年に、新しい義足が出来て、それ以来義足の生活が出来るようになりました。時々、義足の具合が悪くなったり、切断した足の具合が悪くなったりして調整が必要でした。それでも、今も元気で一人暮らしをしております。私は、自分たちが出来ることを、今ちゃんとしなければならぬと、しみじみと考えました。アフガニスタンに義足を作って届けている方々に、感動を覚えました。まず、ポリオを撲滅しなければ……。



Q. ロータリークラブでは理事会が重要な役割を果たすと言われておりますが、その理由と理事会の決議方法について教えてください？

A. ロータリークラブが親睦を目的とし作られ、その後、奉仕が加わったことはロータリーの歴史のなかでも明らかなことです。

社交クラブとしてのロータリーに、奉仕クラブの要素が加わったことにより、親睦と奉仕という一見無関係な二つの要素を一体化して定義付けるところに、ロータリーの理論構造の難しさがあり、また面白さもあります。

いずれにせよ、親睦を第一義と考えて生まれた団体ですから、親睦を阻害するような行動や要素が一切あってはなりません。特に例会は親睦の場と言われておりますので例会運営には特に注意が必要とされます。

かつてシカゴクラブで奉仕理念の導入をめぐる意見が対立し、ポール・ハリス派とハリー・ダグラス派に分かれて、例会が論争の場と化したことがあります。

議論がエスカレートし感情的な発言がでたり派閥が生まれたりして、クラブの親睦が乱れる原因となりました。

クラブの親睦を優先することをシカゴクラブは決断し、ロータリー理念や拡大を議論する場としてRIを設立し、クラブの親睦を守ったのです。

討論の場としてフォーラムがありますが、意見を述べることは自由としても、敢えて結論を出さないというロータリーの伝統は、意見の対立によって親睦を崩すことを恐れた先達の知恵であり、さらに政治的な問題や意見の分かれるような問題を議論したり、統一見解を表明しないという慣習も親睦を守るという理由からです。

クラブの決議機関は例会と理事会ですが、例会で議決するのは定款・細則の変更と会長・役員選挙と提訴に限定されており、議決方法も定款・細則で規定されております。

ロータリークラブは理事会に先議権を持たし、理事会の決定が最終決定と定められていますので、理事会が意志決定するに当たっては慎重な配慮が求められる事になります。

理事会での意志決定には①多数決・②コンセンサス・③コンセンスト等、各種の方法がありますが、多数決により反対意見を無視して強行すると、必ず

親睦にひびが入ります。理事会が新たな提案を行うときには、あらゆる機会を通じて会員の意見を充分聞き、賛否が分かれるようならば、例え少数意見であっても尊重し、提案を取り下げることがロータリーの処理方法。

お互いの意見を思いやり、全員のコンセンサスを得たうえで物事を決め進めて行くのが、会員の親睦を第一に考えるロータリークラブの正しい運営方法であり、理事会はこのことをよく理解したうえで意志決定をしなければなりません。

### ロータリアンの襟章

Q. ロータリーの会員でダイヤモンドやルビーまた数字の入ったバッジをつけている人をよく見かけますが、それらのバッジを佩用することは認められているのでしょうか。またそれらのバッジの意味を教えてください。

A. ロータリーの標章のなかに

「徽章」 Emblem

「襟章」 Lapel Button

「記章」 Badge の他ロータリー旗があります。

まず徽章 (Emblem) は国際ロータリーの目的と綱領を象徴するために制定された公式の徽章で1929年の国際大会で正式に採択確認されています。6本の軸と24の輪歯と一つの楔穴、Rotary Internationalの刻名入りのもので、これらの図形、寸法、色彩等は克明に規定され国際的に保護されており、その使用についても厳しく制限されています。(手続要覧第19章ロータリーの標章の使用と保護171ページ参照)

次に襟章 (Lapel Button)

金地に紺のエナメルで作られたロータリアンの襟章で、クラブの会員はこれを佩用する権利が与えられています。日本では一般にこの襟章をバッジと呼んでいますが、厳密には例会や大会等で胸につける名札がバッジです。

記章 (Badge)

例会や各種大会、会合等で会員が胸につける会章のことで氏名、職業分類、クラブ役職名が記入されたもので、ビジター・ゲストのためにも用意されています。

以上ロータリーの標章について理解されたと思いますが、通常日本のロータリアンのバッジと言われている襟章には質問の通り色々な種類のものが出回っております。ロータリーの徽章が入った製品を製造・販売する免許を持った業者のカタログには、会員章として公式な襟章の他に、ダイヤ入りの現役員、会長、副会長、ダイヤ入またはルビー入の前役員、元会長・幹事、元副

会長まであります。

他に数字の入ったもの、これは100パーセントアテンダンス章として中央の10とか20とかが刻まれております。いずれにも CLUB PRESIDENT、CLUB SECRETARY また PAST……の文字が入っています。

上記いずれの襟章も公式な襟章ではありません。公式なものは唯一国際ロータリーが制定するものだけであり、各種出回っているバッジは単なる記念品であり公式な襟章ではありません。

ダイヤ入りのバッジを襟につけて俺は元会長また元ガバナーと誇示している会員がいたとすれば、あまりロータリーに通暁していない方と見られても仕方ありません。

Q. 質問の職業を持っていない人が入会する場合の職業分類は

A. RI定款第5条第2節 (a) (iii) のいかなる地位からも退職している会員は元の職業分類を維持することができます。

1998年版手続要覧「シニア・アクティブ会員またはバスト・サービス会員のバッジと職業分類」(9ページ)には、1945年度RI理事会決議で「一度も正会員であったことのないバスト・サービス会員は職業分類がない。」となっており、2001年規定審議会で改定されるまで職業分類を持たないバスト・サービス会員が存在していました。

2001年の規定改正により会員の種類が2種類となり、職業分類を持たないバスト・サービス会員は正会員として入会させることができるようになりました。(RI日本支局奉仕室の解答)

Q. 「移籍するロータリアン」とは

A. 現在在籍しているクラブを退会又は元会員がクラブの地域内またはその周辺地域で、自身が保持している職業分類で職業活動ができなくなった場合(転勤で現任地を離れる場合)新任地のクラブに移籍できます。

通常推薦される会員は、そのクラブ会員の推薦によりRI定款第5条第2節の資格条件を有するもので、職業分類を定め理事会の承認と入会金を納めることでクラブ会員に選ばれます。

移籍するロータリアン・または元ロータリアンの場合、元クラブが推薦することができ、クラブ定款第10条により入会金は納入する必要はなくなりました。

2001~2002年度ガバナー月信No.11(2002. 5. 1)号15ページ「移籍ロータリアンまたは元ロータリアン」を参照してください。

# ガバナー日記

## 公式訪問つづく

9月12日(木)は千歳、千歳セントラルRCの合同例会に出席(千歳全日空ホテル)。例会の前に開かれた会長幹事との懇談会も両クラブ合同。共に市民のためのロータリー活動が地に付いている感じ。近在の紫明学院、少年院など収容施設における青少年との交換はロータリアンの最も気の使う所ながら既に長い実績を持つ。環境保全にも特に熱心。例会では幹事の読み上げる報告に出てくる人は全員その都度ニコニコボックス。全体の雰囲気は極めて和やかで、来年の佐藤ガバナー年度も大丈夫との印象。千歳の合同例会のあと美唄労災病院に入院中の西村孚江別RC会長のお見舞い、そのあと向田甚市前ガバナー補佐宅を弔問。

9月13日(金)は羽幌、小平、留萌RCの夜間合同例会へ。河野英夫地区幹事の車で日本海沿いに4時間かけて羽幌に到着。途中留萌市立病院に入院中の富山惟夫PGをお見舞い。会長幹事会に次ぐ合同例会が羽幌クラブ(榊原会長)のあとの懇親会は当りくじからビンゴまで大盛況。地域に根づいたロータリー活動に感銘。とくに小平RCの新名会長は最低6名まで落ち込んだ会員数を現在17名までもちあげたと。人口2,000人の小平町は人口比でもっともロータリアンの多いところではなからうか。帰宅は夜中の12時。



堀知事とならぶ辻野修AG  
道民の森にて

9月14日(土)は道民の森で開催の第3グループのIM(ホストは当別RC)に出席。美唄、江別、江別西、岩見沢、岩見沢東、栗沢、栗山、当別の8RCから220名。道民の森は当別町から北へ車で約30分、初めての参加の人が大部分で全員素晴らしい自然環境に魅了される。これもロータリーの縁だが、辻野修AGの企画と実行力にはただ感服。当別中学校の吹奏楽も札幌圏での優勝校だけに立派。記念



当別中学校の吹奏楽演奏

植樹のあとジ  
ンギスカンパ  
ーティ。終っ  
てからの「手  
に手つないで」  
は芝生のうえ  
に恐らく地区  
最大の輪とな  
った。

9月16日(月)は札幌はまなすRCの10周年記念式典と祝賀会。設立に深くかかわった特別代表の村川舜一会員(札幌北RC)はお元気だが、佐藤鉄彌PG、宮沢正地区代表幹事はすでに故人である。

札幌はまなすロータリークラブは、花の名前のついた北海道でただ1つのロータリークラブ。「はまなす」は北海道の花(道花)であり、また石狩市の花(市花)でもある。

全国ロータリー会員名簿をみると花の名前のついたロータリークラブはおよそ20カ所。一番多いのは水戸さくらクラブなど「さくら」の名のついたのが3カ所、福井あじさいクラブなど「あじさい」の名のついたのも3カ所、次いでこぶし2カ所、コスモス2カ所、その他ローズ、さくらんぼ、アザミ、ひまわり、カメラア、白梅、アゼリアからメープルに至るまで結構多彩な花模様である。

ただ、花の名のついたロータリークラブはほとんど東日本。なぜか西日本に少ない。札幌市の花(市花)「すずらん」の名はつけたクラブはどうか? 万葉集に出てくる花の名を入れれば花の名の新しいクラブの余地はまだ十分。

9月21日(土)は岩見沢、岩見沢東、美唄RCの合同夜間例会。岩見沢RCの市民を巻き込んだ環境保存チャリティも17回を重ね実益も兼ねユニーク。岩見沢東RCの利根別クリーン作戦(2年)のほか少年サッカー大会、アジアへの支援づくりも活発。美唄RCは大竹会長の音頭でボトムアップの実践による美唄市の活性化に貢献。夜の懇親会には地区野球大会に優勝の岩見沢RCへ優勝旗の授与も行った。

## ライラセミナー

9月22日(日)朝9時からのライラセミナー(シニア)に出席。前日のライラは岩見沢への公式訪問のため欠席。22日だけの出席だったが正味6時間、米山、ロータアクト、奨学生、学友などの率直な意見交換を聞き、昔と違ってみんな堂々と主張するようになったのは時代の流れだろう。喉に刺さった魚の骨のように、日本のアジア侵略が共通の話題になる。ロータリーが政治に係わることを避けながらも、若い世代が直面する問題に私自身も私の考えを率直に申し述べた。要は日本がかつての侵略に対する自己を厳しく裁く勇気と相手に謝る勇気の欠如していたことが基本にある。さらに日本人の財産でもある「和」というものの持つありがたみと同時に、和がもたらす「隠す」、「ごまかす」、「事勿れ」の弊害についても述べた。更に相手の人格を認めながらも各人が堂々と主張すること(討論)の必要性と大切さを述べた。

## ガバナー事務所

ガバナー事務所は札幌市中央区大通西6丁目6北海道医師会館6階にある。ここは本来は財団法人札幌がんセミナー(並びに日本がん予防研究会)の事務所でもある。電話番号などロータリー独自のものを除き、その他FAX、E-mailなどは財団と共有し経費の節減をはかっている。

ロータリー専属の事務局員は阿部智子さん1人。ただしガバナー事務所の超多忙の仕事をこなすには1人では到底間に合わない。財団専任の及川智江さんのかなりの支援をいただい



地区大会の準備も大忙し

ている。地区大会に向かって超多忙の2、3カ月は臨時にさらに及川登美子さんの協力もいただいている。

事務局員は朝9時から夕刻5時半以降、ときに6時、7時、8時まで働いてくれる。その

間各クラブや委員会からの問い合わせなどの電話応答のほか、月信などの資料作成、RIからの文書に対する返答などなど、こんなに沢山の仕事があるかと驚くほどである。とにかく彼女たちの献身的な働きはまさしく脱帽である。

### ロータリーの市民講座と小学校の課外授業

かねて富岡公治職業奉仕委員長は極めて意欲的に職業奉仕の実践を考えておられ、その具体的な構想としてロータリー市民講座が始まった。第1回目は10月7日(月)富岡委員長のご依頼で私自身による「がんと人間」のテーマで話させていただいた。ロータリアンを含め約100人近い方々を前に、私はがんが現在人間社会において単に医学、生物学だけの問題



3、4年生の児童に囲まれる  
和田壬三会員(中央)

ではなく文学、哲学、宗教から更に一般家庭に至る極めて身近なものであることを具体的な事例をあげながら話を進め、そのあと質疑応答を行った。

もう1つ小学校の課外授業として右表に示すような6人の演者による課外授業が行われた。3、4年生対象と5、6年生対象の同時並行の授業はなんとかうまくいったようだ。このような試みは1つの小学校にとどまらず、それぞれのRC圏内の小学校、中学校を対象にした試みがなされることが望ましいように思う。これも1つの職業奉仕であり、また社会奉仕、家庭奉仕といってもいいだろう。テーマによっては父兄の参加もあった。なお、演者には大変申し訳なかったが交通費、謝金などの支払いは一切なかったにも係わらず皆さん心よくお引き受けいただいた。深く感謝したい。

### お隣りの地区大会

北海道の東半分が2500地区、西半分が2510地区である。北海道のロータリーは日高山脈を境に東西に分かれているのだが、むかしは1つの地区であった。全国35地区の地区大会のなかでお隣の2500地区だけは是非出席したいと思っていた。幸い10月4、5、6日に時間がとれた。

2500地区の小船井修一ガバナーは全国最年少ながら、大会はITをフル活用しまさにユニバーサル・スタジオにいる感じ。アトラクションも子供達の歌と踊りは感動的だった

## 札幌市立北九条小学校課外授業2002年

### 9月18日(水)

pm 1:35~2:35 (60分)

- 3、4年生 みんな仲良く、家庭のこと 和田壬三(札幌幌南RC、弁護士)
- 5、6年生 国際問題 在米50年の思い出ばなし 吉田 隆(在米の小児科医)

### 9月25日(水)

pm 1:35~2:35 (60分)

- 3、4年生 性教育について 熊本悦郎(元札幌西RC、札幌大名誉教授)
- 5、6年生 環境について 井上勝一(札幌北RC、北大環境研助教授)

### 10月2日(水)

pm 1:35~2:35 (60分)

- 3、4年生 食と健康、元気に生きるために 岩崎輝明(札幌北RC、食と健康財団理事長)
- 5、6年生 性教育について 熊本悦郎(元札幌西RC、札幌大名誉教授)

し、シンポジウムの内容もロータリーを深く考えさせられるものだった。最終日10月6日(日)午前のプログラムを失礼して我が地区のゴルフ大会の表彰式(島松ゴルフコース)に直行。

10月11日(金)、例会予定の1週間前に札幌幌南、札幌清田、札幌大通公園RCの会長幹事がガバナー事務所に参集。各クラブには週報とか1年のまとめの記録誌があるが、月報のようなものを出しているのは、札幌幌南クラブだけかもしれない。砺波会長の発想でこれを「ラブレター」と称し、1ヶ月何をしたかの総括を紹介している。清田RCはロータリーの原点にかえり、ロータリーの奉仕は自らの手足を動かすことを前提にDPI札幌国際大会の袋詰作業に全員が参加。お金だけ出して自らの手足を動かすことの少ない現在のロータリアンの立派な手本と見た。会員も17名から31名に増強。大通公園RCは入会金、年会費とも低額に抑え、新しいロータリーのあり方を模索。老人との対話(音楽、書道、囲碁など)を行っている。小人数ながら実のあるロータリーとしての行動を行っているようで嬉しく思う。

### グループワークショップ

10月12日(土)第3グループ研修会に美唄に。辻野修AGのきも入りで9月のIMに次ぐグループ内ワークショップ。テーマは「本音で語ろうロータリー」。

辻野AGとは美唄労災病院に入院中の江別RC西村学会長のお見舞いに再度行くべく美唄駅で落ち合う予定で列車に乗る。疲れていたせいかウトウトしてしまう。駅に降りプラットフォームの駅名を見たところなんと岩見沢。しまったと思ったときドアは閉まって発車。止むなく辻野AGの携帯に電話し、見舞いをあきらめタクシーで真っ直ぐ美唄の会場に。辻野AG曰く「乗り過ぎはよくあるが、前の駅に降りるとはなんとせっかちなことか」。

「本音で語ろう」は8つのRCからの代表の5分間スピーチ。ロータリーの将来を案じての話が多い。会員増強は数を増やすことだけに捉われることなく、一人ひとりの会員の資質向上を願う努力がいま求められていると思う。この研修会の内容はIM並み。とすると第3グループはすでに2度のIMをやったことになる。

### GSE

10月13日(日)はフィリピンに派遣するGSEメンバーの選考会議に出席。人物と英語力。みんな個性的で決めるのがむずかしいが、山名GSE委員長の熱意ですんなり決定。チ



GSEメンバーを囲んで後列左は  
山名善久委員長

ームリーダーは戸部謙一会員（札幌西RC）。これで11月16日には先方からのGSEメンバーと地区大会と一緒に握手してもらえそう。

10月16日（水）夜、フィリピンからのG

SEメンバーが千歳空港に到着。すぐに千歳のANAホテルへ。そこでの簡単な歓迎レセプションに出席。フィリピンからのエドウィン・アフゼリウス団長をはじめ5人（男2、女3）のメンバーの来道に心からの歓迎を述べる。

### 公式訪問最後の追い込み

10月17日（木）は滝川、砂川両RCの夜間合同例会に出席。両クラブの息のあった協力関係は長い歴史もあり夜の懇親会はまさに絶好調、羨ましい限り。翌18日（金）は札幌幌南、札幌真駒内、札幌清田、札幌大通公園の4RCの合同例会。地区運営にいろいろお世話になっている会員が多いので感謝である。

### ガバナー諮問委員会

諮問委員会はパストガバナーの集まりと聞いているが、どんなことを話するのかとの問いは古くから耳にしていた。10月18日（金）夜今年度初めての諮問委員会。本来、諮問委員会はガバナーの考えてること、行っていることに対してパス

トガバナーから諮問を受けることである。

今回、地区予算が逼迫している折から、パストガバナーの関わる予算面についての大幅な削減をお願いした。その骨子は4月の地区協議会において既に承認を得たところである。特にロータリー研究会はパストガバナーの勉強の機会として全国からパストガバナーが集まる。これに必要な予算（旅費、宿泊、登録料）は昨年度予算180万円で実績150万円使っているが、今年度の予算はわずか100万円に圧縮していただいた。パストガバナーはこの厳しい現状をよく理解くださり、実際の配分についてはガバナーに一任するとのお申し出をいただいた。

その他今年度はRI理事選出のための指名委員の選出がゾーン1（2510地区を含む）から出すことになっている。そのため指名委員の選出についての経緯を説明した。

また地区大会についてコメントを頂戴し、またRI会長代理のエイド役として伊藤長英パストガバナーをお願いしたい旨を報告した。また、地区大会において昨年度の決算報告を行うことにしたが、決算報告に関する会計監査が今までなかったため、これを新たに遠藤パストガバナーにお願いすることとした。前向きに議論しようとの積極的な雰囲気は大変嬉しく思う。

翌19日（土）創立5周年を迎えた札幌清田RCの祝賀会に出席。清田RCは若くて小さいながらも、ロータリーの原点に戻り、しかも自ら手足を動かして立派な活動をしている。このことに自信を持って今後益々ご努力いただきたい旨のお祝いと激励の言葉を述べる。

（10月19日記）

## ガバナーとの対話 —会長幹事懇談会メモより

—会長幹事懇談会におけるガバナーとの対話を出来るだけ忠実に紹介するものである

### 職業分類の枠

- Q. 1つの職業分野の枠に対する枠が緩められたことに対するご意見をお伺いたい。
- A. 枠が緩められたことで1つの職種の中に多くの人が参入できることでは、会員増強の面での成果はあろう。ただ特定の職種の人が1割以上占めることによる弊害はすでに前例もある。まず入会前に慎重な検討が必要ではないか。

### ロータリーの規約

- Q. ロータリーの規約が次第に緩められていく傾向に対する賛否はあるとしても、毎週1回の出席と厳しい出席率はあまり変わらないようだ。これについてのご意見は？
- A. ご指摘のとおり、年4回まで休会できるようになったことに対する賛否はあるが、これがライオンズのように隔週1回夕刻開催ということにはならないと思う。例会の魅力作りを自ら工夫し毎週の例会を心待ちにするようになりたいものである。

### ポリオの寄附

- Q. ポリオに対する寄附は財団の寄付の中に含めてもよいのか？

- A. ポリオの寄附は財団の年次寄附とは別枠のものである。金額についての問合せも多いが、3年間に亘って出来るだけのご理解をいただければ有り難い。

### 大阪大会

- Q. RIの国際大会（大阪大会）に対する寄附が年間2,000円ずつ募られているが、これで登録費が免除されるのか？
- A. この金額は日本における大会を成功させるための協力金で、参加者は別途登録費が必要になるものと理解している。

### ロータリーは何をしているか

- Q. 遠い田舎にいるとロータリーは何をしているのですかと聞かれて返事に困る。田舎には青少年もGSEも誰も来ない。社会の認知も低い。困ったものだ。せめてテレビでPRしてもらえないか。
- A. 地域による実情はよく理解できるが、ロータリーが何を行なっているかについてはたとえば月信で社会の人に説明をしていただけないものか。テレビによるPRまでは現在考えていない。

## 規約の緩み

Q. 規約が柔らかくなってきたことは即、気の緩みに繋がらないか？ ロータリーそのものに対する懸念である。いろいろ緩めることで会員増強を考



えているのであれば、これは本末転倒で、ルールの緩いライオンズでも大きく会員減少をみているのを知るべきだ。場合によっては日本独自のルールを作ってもよいのでないか？

A. ご指摘ももっともと思う。ロータリーがライオンズに近づくことはあり得ないことと思う。ロータリーの将来に対する心配のお言葉として拝聴する。

## 小人数の例会のとき

Q. 欠席が多いと数人の例会になってしまうことがある。そうすると卓話どころではない。

A. 卓話に代えて例えば「ロータリーの友」をみんなで読み合うとか、「ガバナー月信」をみんなで読み合うのも一助にならないか。

## ニコニコの使い方

Q. ニコニコのお金をクラブ運営に使うことについての意見は？

A. 各クラブの自己責任で決めることではないか。

## 禁煙について

Q. 例会中の禁煙をすすめているが、喫煙は身体にどのくらい悪いのか？

A. 手続要覧にはっきり望ましくないと書いてある。喫煙本数によって健康被害が高まり、その被害額はタバコ売却による税収入をはるかに上回る。ロータリーでいう禁煙推奨は例会とかロータリーの会合のときのことで、それ以外のプライベートに言及するものではない。[拙著、がんの予防(岩波新書)をご参考に]

## 地区大会の市民参加

Q. ロータリーの市民との接触の大切さがいわれているが、地区大会の記念講演(アグネス・チャン:小さな命からの伝言)をロータリアンの家族なり一般市民に公開することはあるか？

A. 実行委員会が検討してみよう(後に一般市民は難しいと決定)。

## ポリオの窓口

Q. ポリオの窓口が広報委員会となっているのはおかしいのではないか？むしろロータリー財団委員会が受け持つべきではないか？

A. ごもったもな意見である。寄附をお願いする意味では財団委員会の担当だが、ポリオについて地区における余りにも情報過疎の状況をふまえ、その懸命なキャンペーンから始めたいとのことで広報委員会を窓口とした。次年度の検討課題としてほしい。

## クラブを見下げる

Q. 小さな若いクラブは周辺クラブから何か見下げられる印象を受けることがあるのだが。

A. 歴史があり、会員の多いクラブが偉いと考えるのは大間違いだ。ロータリアンとしてはみんな同じで、そこに階級の違いがあるはずはない。大きいだけで何もしないクラブに比べれば、小人数ながらロータリーの活動を行っていることに大きな自信を持つべきではないか。もしロータリーに

権威主義ということがあるとしたら、これは官僚化の始まりでロータリーの衰退を意味する。

## 退会防止の一策

Q. クラブの中に多くの同好会を作り新会員はこの同好会に出来るだけ入ってもらうことによって人間関係を築き、退会の防止に心掛けているのだが。

A. 理念より実践を優先する一例と思い、大変参考になる情報で有り難いと思う。

## 月信

Q. 月信はすごくよくなったと思う。全員購入の基本方針はうまくいっているのか？

A. お褒めをいただき有り難う。編集委員も苦勞している。2、3のクラブを除いてほとんどすべてのクラブで全員購入いただいている。月信はこれからのロータリー活性化の起爆剤として、また一人ひとりの会員意識の向上、いわゆるボトムアップの一助に資したいと思う。会員からの投稿をお待ちしたい。

## ガバナーとの対話

Q. 月信のなかの「ガバナーとの対話」の欄にはかなり厳しい質疑があるが、いままでの会長幹事会で実際そのような内容の話がなされていたのか？

A. 会長幹事会はクラブの活動内容をお伺い致し必要なコメントをする。その主なことは「ガバナー日記」に紹介している。残った時間をロータリーに対する提言、意見、質問として使わせていただき、その実際の会話を発言者のお名前を伏せて忠実に記録したものである。

## RIへの上納金

Q. RIに出したお金がどのように使われているかわからない状態が厭だといって退会した人がいるのだが。

A. RIへの上納金の使い道についての質問は何度も受けたが、いずれは明らかになると期待している。

## 会員増強

Q. 会員増強についての奇策はないか？

A. 奇策はない。地味ながら①例会を楽しく魅力あるものにする努力をすること。ニコニコの進め方もマンネリ化していないか考えてみる ②新会員へのケアに責任を持つこと。役職を与えたりとか趣味の会に入ってもらおうとかする ③クラブの入会金・年会費を少しでも安くしようとの努力をみせること ④会員増強は数だけではなく一人ひとりの会員の意識を高め質の向上を計ること。決して数だけに捉われないこと。以上のことを守れば素晴らしい友人から離れられなくなり会員増強にもなるのではないか。

## 新会員の地区委員

Q. 入会間もない会員が地区委員になることに対してクラブで異論が出ているのだが？少なくともクラブ会長の了解をもらってほしい。

A. 会員歴の長い人が地区委員になるケースは多いが、例外があっても差支えない。むしろ役職を与えられることでロータリー活動に献身する新会員の成長が楽しみである。クラブ会長の了解はあることが望ましいのは当然で、このことは地区の委員長さんにご留意を願いたい。

Q. ある地区委員会への出席要請がクラブ会長幹事宛にあることがあるが、そのとき「出席は義務である」と言われることがある。これは委員長の言いすぎではないか。

A. 熱心な地区委員会は勇み足ととられることがあるかも知れない。問題の内容を整理したうえで委員長と話し合ってみる。



## 今日も新しい自分でいこう!

ぐっすり眠って目覚めた朝は、  
心も身体もリフレッシュ。  
ふわふわ羽毛の優しさに包まれて  
昨日の疲れにさよならしたら、  
さあ、今日も新しい自分でいこう!  
東洋羽毛は頑張るあなたを応援します。

G O O D  
★ Good Day, ★  
Good Smile!  
S T U K  
K E E P

北海道看護協会推薦

クリーニング、リフォームなどもお気軽にお問い合わせください。

ずっと良質  
もっと良眠



**TUK** 東洋羽毛

札幌営業所

フリーダイヤル

〒003-0828

**0120-383863**

札幌市白石区菊水元町8条2-2-1

# 地区大会が間近になってきました！

—登録はまだ間に合います—

本年度の地区大会は今月の16日（土）17日（日）に開催されます。地区大会は地区における最大の行事で、地区内のすべてのロータリアンとその家族に解放され、旧交を温め新しい友人を作る絶好の機会といえます。

ビチャイ・ラタクルRI会長の『慈愛の種を播きましょう』のテーマのもと、地区大会テーマに『咲かそう、慈愛の花』を掲げました。

地区内ロータリアン多数が参加され、創立100年を迎えるロータリーとこれからのロータリーについて、皆さん

とともに今一度考える場にしたいと思っております。

また、本年度の地区大会の新しい試みとして、本会議を2日間に分けました。そして、遠隔地のクラブの要望を聞き、2日目の懇親会は従来の夕食会でなく昼食会とし、すべての日程を午後3時で終了するようプログラムを組みました。

これにより、時間的には若干タイトになりましたがプログラム内容をコンパクトにし、ロータリーを深く考える機会にいたしました。

## ◎本会議1日目 14:15~16:20 地区委員会活動報告

地区の28委員会より活動の報告や計画の発表があり、地区活動への理解を深める絶好の機会と思われま

## ◎記念フォーラム 16:15~18:30

フォーラムのテーマは「慈愛の種からどのような花を咲かせるか」です。日本ガバナー会の議長を含む3人の他地区ガバナーと小林ガバナーが、ロータリーの過去100年を振り返りそしてこれからの100年を見据えて、ロータリー運動の目標と戦略を真剣に討論していただきます。また、会場からご意見を頂きたいと思

## ◎RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 18:40~21:00

RI会長代理として、佐野康博第2770地区バスターガバナーご夫妻をお迎えして、歓迎晩餐会が開かれます。大勢の会員の方々の参加をお待ちしております。

## ◎本会議2日目 9:00~10:50

佐野康博RI会長代理からRIの現況と、小林ガバナーより第2510地区の現況を詳細に報告して頂きます。現状を把握するまたとない機会でしょう。

様々な奉仕活動に大きく貢献した、個人・団体などへの表彰が行われます。活動への大きな励みになると思われま

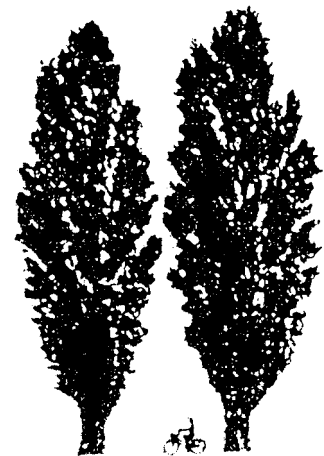
## ◎記念講演会 11:00~12:30

教育学博士であり目白大学・共栄大学でも教べんを取られ、日本ユニセフ大使としてもご活躍中のアグネス・チャンさんをお招きし、自らのボランティア体験を通じてのお話等もして頂

また、歌手デビュー30周年記念にあたり、『The Seeds of Love』を掲げ「愛の種をまく勇氣ある人間になりたい」と言っております。彼女の豊富で貴重な体験を通じた講演により、私たちのロータリーライフに何らかの示唆を与えてくれるものと信じております。

## ◎記念懇親会（ロイトン札幌） 13:00~15:00

すべての行事を終えゆったりとした気持ちで、日ごろお会いできない遠方の方々とも懇親を深めて頂きたいと思



# 地区大会プログラム

【第1日目】11月16日（土）

会長・幹事会

- 11:30～ 登録開始
- 12:30～ 点鐘、大会決議案・上程案審議
- 13:20 終了

本会議（1）

- 12:30～ 登録開始
- 13:40～ 点鐘
- 13:55～ 決算報告、各種報告
- 14:05～ 大会決議案上程案採択
- 14:15～ 地区委員会活動報告
- 16:20～ 記念フォーラム

『新世紀におけるロータリー運動の目標と戦略』

- 18:30 終了

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

- 18:40～ ウェルカムドリンク
- 19:30～ 歓迎晩餐会
- 21:00 閉会

【第2日目】11月17日（日）

本会議（2）

- 8:00～ 登録開始
- 8:45 着席
- 9:00 点鐘
- 9:30～ 参加者・クラブ紹介
- 9:55～ RI現況報告
- 10:20～ 地区現況報告
- 10:25～ 各種表彰
- 11:00～ 記念講演会

『小さな命からの伝言』

- 12:30 終了

記念懇親会

- 13:00～ 開始
- 15:00 終了

## 地区大会記念ゴルフ大会－和やかに開催

本年度の地区大会記念ゴルフは、地区大会に先立ち10月6日（日）に、地区内クラブ会員71名の参加を得て札幌国際カントリークラブ島松コースにて、天候にも恵まれ開催されました。

午前7時からA部門・B部門それぞれに別れてスタートし、

午後からは小林博ガバナー・小林孝夫地区大会実行委員長も出席され、懇親会並びに成績発表・表彰式が行われ、和やかで親睦の深まったゴルフ大会を終えることができました。



### 各賞一覧

（個人賞）

	A部門	B部門
優勝	玉田 忠 (岩見沢RC)	吉田輝雄 (岩内RC)
準優勝	佐藤清夫 (栗山RC)	瀬川五水 (北広島RC)
1位	廿日岩重春 (札幌北RC)	梅田鉄夫 (新札幌RC)
2位	中村堅次 (千歳RC)	池田清美 (岩内RC)
3位	亀田 浄 (三石RC)	荒木敏博 (岩見沢RC)
4位	阿部 修 (岩見沢RC)	泉亭祐司 (当別RC)
5位	曙 恒平 (千歳RC)	広瀬 進 (札幌MRC)
6位	金子賢一 (岩見沢東RC)	長谷川直紀 (江別西RC)
7位	菊地 章 (札幌東RC)	林 秀徳 (岩見沢RC)
8位	西川 正 (伊達RC)	三上直彦 (札幌西北RC)
9位	村田研一 (千歳RC)	平 昌夫 (札幌南RC)
10位	小笠原良 (千歳RC)	平間和弘 (千歳RC)
15位	金田省三 (岩見沢東RC)	柏倉 慎 (札幌清田RC)
20位	泉亭俊徳 (当別RC)	井上英幸 (千歳CRC)
25位	羽山昇蔵 (千歳RC)	志比川武 (蘭越RC)
30位	富岡公治 (札幌西北RC)	宍戸 昭 (江別西RC)
BB賞	辻野 修 (当別RC)	福岡英雄 (札幌西北RC)
BG1	金子賢一 (岩見沢東RC)	平 昌夫 (札幌南RC)
BG2	羽山昇蔵 (千歳RC)	朝倉正人 (札幌東RC)
BG3	桃井康夫 (札幌清田RC)	柏倉 慎 (札幌清田RC)
NP	福田武男 (千歳RC)	大公一郎 (札幌東RC)
NP	武者賢一 (伊達RC)	該当者なし
DC	佐藤秀雄 (千歳RC)	平 昌夫 (札幌南RC)

※BG1～3はグロス1位～3位・NPはニアピン・DCはドラコンを示す。

（ペアー賞）

1位	佐藤清夫 (栗山RC)	梅田鉄夫 (新札幌RC)
2位	中村堅次 (千歳RC)	長谷川直紀 (江別西RC)
3位	西川 正 (伊達RC)	荒木敏博 (岩見沢RC)
4位	菊地 章 (札幌東RC)	三上直彦 (札幌西北RC)
5位	大石春雄 (札幌はまなすRC)	泉亭俊徳 (当別RC)

（ガバナー特別賞）

中山裕視 (札幌真駒内RC) 澤田隆一 (札幌南RC)  
大谷恵一 (北広島RC) 菅原耕治 (札幌北RC)

（地区大会実行委員長特別賞）

山中善夫 (札幌RC) 大島利一 (札幌西北RC)

（代表幹事特別賞）

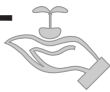
榎本恵子 (三石RC) 太田ヒロ子 (栗山RC)





## 地区活動 紹介

### 第1回ロータリー 市民講座を開催



職業奉仕委員会  
委員長 富岡公治

職業奉仕委員会主催・札幌市後援の第1回ロータリー市民講座が平成14年10月7日午後2時～午後4時、札幌市中央区民センターで小林博北大医学部名誉教授を講師に開催されました。

最初に、司会者夏井坂信幸地区職業奉仕委員（札幌南クラブ）の開催宣言と講師小林博北大医学部名誉教授の略歴の御紹介がありました。次に私から参加者にロータリークラブが多様な専門職業を有する奉仕の理想を有するロータリアンによって構成されていることを全世界的な規模の約100年の歴史を有する団体であることを紹介しました。次に今回のロータリー市民講座を開催することに至った経過と理由の説明を致しました。なお、参加者は私達職業奉仕委員会の予想を超える約70名もの市民が参加されました。



小林博ガバナーは「がんと人間」と題して約1時間20分位講演されました。小林博ガバナーは終始温容で優しく熱心に参加者に対して話をしておりました。

その講演内容は次の通りです。

- 1 今日がんは死亡原因第1位になり、現在日本で最もポピュラーな病気です。
- 2 がんになる原因は遺伝的な要素、ストレス等様々な要因によって発生しています。

3 人間は誰しも生を受けて死に至るのであり、例外となる人は当然誰一人と存在しません。

病気の面から言うと、死亡原因は心臓病、血液等の循環器系とがんの3分類に分けられます。

いずれの死に至る病もこれがベターといわれるものはなく、ことさらにがんになって死ぬことが最悪であるということではありません。

4 私はがん患者が最終的に死に至ったとしても、それは患者、家族と医学にとっての敗北ではないと考えています。

最善を尽くしてがん向き合うことが必要です。



5 患者、家族、友人は医師とも相談して治療可能ながんに対しては、「対決」して闘うべきであり、一方治療してもがんが治らない場合には、患者の体力を消耗させる無理な副作用の強い抗がん治療を行うことは必ずしも良いことではなく、むしろがんとの「対話」をすることをお勧めしたいと考えています。

そして、最大の最良のがんとの対決方法はがんにならないよう予防的に注意することです。

そのためにはストレスをためないような日常生活を送り、適度な運動をすることと野菜を多くとる食生活に心がけることです。

6 がんにかかった場合、家族、友人の暖かい励ましは絶対に必要であり、私の知っているがん専門病院の医師も、家族、友人が多く見舞いに来る患者は全治して早期退院する人が多く、一方孤独で見舞いに来ない患者は死亡する率が高いように思われる旨言っておりました。

その後、参加者から小林博講師に次々と質問がありました。

(質問) 小林博先生はがんについては、民間療法を試みることにしては、どのように考えますか。

(答) 私は、民間療法は実際にはあまり効果があるものは少ないとは思っていますが、何とか生き続けてがんに立ち向かいたいと考えている患者に対しては、有効有益な面もあると考えているので、民間療法を試みることに原則として賛成しています。

(質問) がん告知の是非についてどのように考えますか。

(答) 今、がんは全体を通じて50%以上は治癒可能な状況にあり、がんの種類、進行状況に応じて告知の是非を考えるべきであると考えています。

(質問) 小林先生のように優しい人が主治医なら良いが、若い医者の中には、患者の気持ちも考えず、一方的に医者の見解を述べる場合があるがどのようにしたら良いですか。

(答) やはり、患者、家族側も担当医師に自分達の考えをきちっと伝えて医者の理解も得られるようにすべきであります。

ただ、がんにも様々な種類があるので、専門病院の選択は重要であると考えます。

多数の質疑応答が続いた後、私から多数の参加者が終始熱心に小林博先生の話に耳を傾け、小林博先生の話が実に有益で唆に富んでいることに深い感銘を受けた旨小林博講師と参加者の市民の皆様に対して感謝のあいさつをし、夏井坂司会者の閉会宣言により第1回市民講座を終了致しました。



#### エピローグ

ロータリー市民講座終了後も参加市民が何人も残って、小林博講師のところに来てがんへの対応について質問したり相談をしたりしておりました。

私達地区職業奉仕委員は入口で参加市民をお見送りしたのですが、参加者の中に「私達夫婦2人ともがんにかかっています。今日はどうして

も小林先生のお話を聴くために静内町から来ました。真に今日来て良かったと思います。」と涙ながらにお話するのを聞いて、改めてがんにかかった人たちの心理的状況に思いを致すとともに、第1回ロータリー市民講座が有益に成功したことを確信しました。

改めて小林博ガバナーに第1回ロータリー市民講座の講師を快く引受け、実施していただいたことに御礼の言葉を述べさせていただきます。

## 家庭奉仕活動について

家庭奉仕委員会  
委員長 和田壬三

### 委員会の開催

1、7月4日 ガバナー及び、地区社会奉仕委員菅原氏、米山地区幹事の参加を得て、活動方針を各委員の家庭奉仕に関する個人的な見解をお聞きする中で決定しました。

①四回に分けて、毎月委員会を兼ねた勉強会を開催する。

②日程は、予めガバナー月信で全ロータリアンに予告して希望者には広く参加してもらう。

③2003年2月22日の第4、第5グループのIMのテーマとして当委員会が担当して、シンポジウムを行うこと。

2、8月17日第1回学習会

土橋信男札幌南RC会員（前札幌市教育長、前北星大学学長）に講師をお願いして、家庭について様々な角度から、学ぶ。ガバナーはじめ、対木地区社会奉仕委員長、菅原地区社会奉仕委員（滝川RC）松元純枝（深川RC社会奉仕委員長）のご参加も得て開催する。

家庭は、愛情に基いて円満にすごせる時代ではなく家庭生活を円満に送るためには、技術が必要であることを学ぶ。

3、9月14日第2回学習会

講師に親業訓練インストラクターである土橋芳美氏をお願いして、初歩的な訓練の方法を学ぶとともに訓練によって実際に立ち直ったケースについて報告をえた。

久住 博、安澤正美（札幌あけぼのRC）松本（深川RC）太田真琴（札幌南RC）池上公介ご夫妻（札幌モーニングRC）土橋信男、

田沢泰明（札幌南RC）のご参加も得て実施しました。

4、次回の予定

池上公介氏を講師に招いて‘登校拒否児の指導’というテーマで、10月24日実施する予定です。

### 小学校に於ける課外授業の講師

9月18日に私が講師として、札幌市内の北九条小学校の課外授業、‘みんな仲良く’‘家庭の事’というテーマで、実施しました。これは道新に取り上げられました。

## 札幌での社会奉仕に関する情報交換会報告

社会奉仕委員会  
委員 菅原剛太郎

既に、地区社会奉仕委員会による情報交換会が滝川RC、苫小牧北RC、余市RCの当番で実施されたが、第4、第5グループの情報交換会が10月5日ホテルアルファで開催された。

冒頭、対木地区社会奉仕委員長（札幌西RC）の効果的な奉仕プロジェクトについて提言があり、参加クラブから過去3年間の奉仕プロジェクトの概要と問題点、継続事業について各々発言がなされ、白熱した意見交換が行われた。

会員の減少と限られた予算の中で、汗を流し奉仕活動が展開されている様子が窺われた。

高下地区家庭奉仕委員（札幌西RC）から地区家庭奉仕委員会の事業の進捗状況の報告もあり、最後に角掛晴雄第5グループ、ガバナー補佐の講評を頂き、「真に地域社会が望んでいる事業を通してロータリーのメッセージを伝えたいものである」ことを確認し、約3時間に及ぶ意見交換会を終了した。

## 若者にとってより良い未来を

職業奉仕委員会 留萌RC

平成14年9月25日、留萌ロータリークラブから4名出席して地元の留萌千望高等学校の3年生を対象に、職業奉仕に関連する卓話を実施。

まず、留萌RC大沼哲郎会長と職業奉仕委員会の斎藤清蔵委員長のあいさつ、次に工業系2クラスについて

は、地区職業奉仕委員会高田潔委員の卓話。会場を変更して、留萌RC職業奉仕委員会の中出敏彦副委員長が商業系2クラスに対して卓話をした。

主な卓話の内容は今後、就職・進学する高校3年生に対して、ロータリーを理解するために、①組織の流れ、②活動の趣旨、③具体的活動の紹介、④卓話者の社会人としての実体験、⑤高校生に対する激励の言葉を添えて終了した。

なお、この卓話は、高校側としても都合の良い日程であり、しかも来月の職業奉仕月間を先取りした時期に、小林ガバナーの方針を意識しつつ、第2510地区と留萌クラブの共催で実施した。

この卓話の実施により、これから社会人となる145名の高校生に、ロータリーという組織と活動の理解、これから歩む実社会への道標として、役立ったものと思う。

## 人道的補助金の有効利用のおすすめ

補助金委員会  
委員長 伏木忠了

当地区の人道的補助金に対する2002～2003年度の使用可能な地区財団活動資金（DDF）は35,000ドルあります。地域社会援助プログラムのための10,000ドルは次年度に繰越すことはできません。その申請期間が12月31日までです。利用されないお金は、ロータリー財団が国際奉仕プロジェクトを通して世界理解と平和推進のために寄付することになります。

2510地区で、そして各クラブでこの補助金を活用される事を願っております。

補助金に関する仕組みは、<http://www.rotary.org/foundation/grants/structure/index.htm>に掲載されており、その資料をウェブサイトからダウンロードして下さい。

尚、日本語での資料が必要な方は<http://www.rotary.org>からRotary Internationalメインページにアクセス後、日本語を選択して頂き、ダウンロードのコーナーにアクセスすると各書式等DDF形式ファイルにて配布されておりますのでご覧下さい。

## 奨学生の選考と派遣の変遷



国際親善奨学金委員会  
委員長 土橋信男

### 選考の変遷

ロータリー国際親善奨学金制度は、ロータリークラブが次代を担う若い世代を相互に奨学金によって派遣し、国際的感覚を持った次の世代のリーダーを育成しようとするものです。

国際ロータリー財団が、ポール・ハリスの逝去を記念して1947年に創設された教育プログラムとしての国際親善奨学金制度は、現在毎年約1,200人もの奨学生を世界各国に送り出している世界最大の奨学制度です。

日本からも毎年約370人の奨学生がこの制度で留学をしており、1950年に派遣された緒方貞子さんから第一期生からの累積数は約7,000名に上ります。

本地区からの歴史は1962年に女性一人が奨学生として派遣されたことにさかのぼります。それ以来、最初は2-3人の派遣でしたが、徐々に増えた派遣数は、近年では10人前後になっています。累積の派遣数は、195人(1962-01年)にのぼります。当初は男子が多かったのですが、1990年代に入ってからは女子が圧倒的に多くなり、累計でも女子115人と男子の80人より多くなっており、この差はますます広がりそうです。

国際親善奨学生はスポンサーとしての各クラブの推薦を基本としており、一方留学先ではその地域のクラ

ブがホストクラブとして受け入れをするということになっています。つまり、クラブ間の連携により成り立っているプログラムなのです。

これまで最も多くの奨学生の推薦をしてきたのは、札幌北クラブで累計26名になっています。以下、札幌(25)、札幌西(19)、札幌東、札幌幌南(17)、札幌南、小樽(10)、札幌真駒内、札幌手稲(8)、札幌西北、小樽南(7)がベストテンです。

国外留学へ派遣するという性質上、どうしても都市中心、しかも大都市である札幌に推薦クラブが集中するのは止むを得ないことかもしれませんが、中小都市や町村からのクラブの推薦者も時に合格しています。

赤平(1986)、伊達('93)、江差('99)、留萌('00)の各クラブが、それぞれ括弧内の年度に推薦して合格者を出しています。また、本年度('02)は深川クラブから1名の合格者が生まれました。

この優れた制度への希望者は非常に多く、この数年は30名から50名が応募しています。

なお、奨学生の募集は、2月に始まり4月にクラブへの受付を締め切っていますので、前途有望な青年の掘り起こしを各クラブとも行っていただきたいとお願いするものです。

### 派遣国と派遣数の変遷

1962年から2001年に至る第2510地区の国際親善奨学生の派遣数は209名、そして派遣した国は23カ国になる。

これまでの最大の派遣国はなんといってもアメリカ合衆国。ダントツの一番。しかし、第1表でみられる

ように、当初は米国ばかりが多かった留学希望国も、ヨーロッパ各国や、少ないながらもアジア諸国も加わってきた。

第2表は最近10年間の派遣数を見たものであるが、米国への派遣数は相対的に減ったものの依然として最多派遣国であることには変わりなく、また派遣数による順位も殆ど変わらない。

1962年から2001年までの累計での派遣数の順位は第1表に示したとおりであるが、あらためて10位までを再掲する。

1	米 国	112
2	英 国	16
3	フ ラ ン ス	14
4	カ ナ ダ	13
5	ド イ ツ	11
6	オーストラリア	8
	イ タ リ ア	8
8	ニュージーランド	4
9	オーストリア	3
	ロ シ ア	3

なお、本委員会としては、できるだけ多くの国、しかもアジアなどの発展途上国にも派遣したいということから、そうした

願いをもっていたが、本年選考し、来年留学を予定している奨学生11人のうちの2人がそれに該当する。即ち、タイとトルコを希望しているからで、その2カ国が加わると、来年で派遣国は25カ国となる。



## 宮澤功行デビュー30周年記念演奏会のご案内

札幌モーニングRC会員でピアニストの宮澤功行会員が、下記の演奏会に長女むじかさんと共に出演いたします。クラシック音楽に興味のある方々に多数ご来場いただきたくご案内申し上げます。

札幌モーニングRC 会長 井野 智

日時：2002年11月6日(水) 開場：18:30 開演：19:00

場所：札幌コンサートホール KITARA (大ホール)

出演：宮澤功行/宮澤むじか/ワルシャワフィルハーモニックオーケストラ/指揮 カジュミエシ・コルド

曲目：宮澤功行 ベートーヴェンピアノ協奏曲5番「皇帝」

宮澤むじか ショパンピアノ協奏曲2番

●お問い合わせ：オフィスワン/TEL011-612-8696

<http://www.conservatoire.co.jp/>のHPからもチケットの購入ができます。



# GSEチームメンバー来日

GSE委員会  
委員長 山名 善久



10月16日夜に待望のRI3830地区GSEメンバーが千歳に到着いたしました。直ちに千歳ANAホテルにて、小林ガバナー、戸部次期派遣GSEチームリーダーはじめ第1週担当第7グループの関係者の皆様も交え、ウェルカムパーティーを開きました。

翌17日は10時から14時までオリエンテーションを開催し、滞在中のスケジュールと北海道の説明をいたしました。千歳RCへ引き継ぎました(写真)。

GSEホームページに多数のスナップ写真を随時更新し載せております、併せてご覧下さい。

GSEホームページアドレス  
<http://www.caeser.or.jp/ri2510/GSE/framepage.html>

## ●滞在スケジュール●

### 受入世話クラブ

第1週	10月16日～10月22日	第7グループ	恵庭ロータリークラブ
第2週	10月22日～10月28日	第2グループ	赤平・芦別ロータリークラブ
第3週	10月30日～11月5日	第9グループ	伊達ロータリークラブ
第4週	11月5日～11月11日	第10グループ	函館ロータリークラブ
第4週	11月11日～11月18日	第4グループ	札幌手稲ロータリークラブ

※ 10月28日～10月30日 地区GSE委員会  
11月18日～11月29日

## 第10・11グループ 合同研修会 ●●●●●

社会奉仕委員会  
委員 中野 亮

テーマ：社会奉仕活動の現状と今後の課題  
(社会奉仕活動に関する情報交換)

対木地区社会奉仕委員長を迎えての社会奉仕活動の情報交換会を予定していたところ、遠藤哲二、松見修二両ガバナー補佐の協力の基にグループ合同研修会として、10・11グループクラブの会長、幹事、社会奉仕委員合わせて30名の出席を得て10月12日(土)函館国際ホテルに於いて開催されました。

はじめに、遠藤ガバナー補佐から合同研修会の経緯と地区の現状説明があり、松見ガバナー補佐が今回の研修会の主点となる、①過去3年間で成功したプロジェクトとその理由、②社会奉仕活動についての問題点、③継続事業についての対応。この3点について各クラブの状況報告を要請されました。

対木委員長より社会奉仕とは『いかに地域と密着した活動が出来るか』『地域と一体となった活動』のお話があり、DPI世界会議札幌大会の協力のお礼が述べられました。

最初に、昨年度、和田委員長が製作した第2510地区の各クラブの社会奉仕活動のVTRが上映され、今一度各地域の奉仕活動



### チームリーダー

エドウィン・O・アフゼライス

ラス・ピナスRCに所属。ソルケム・フィリピン株式会社 社長(有害溶液と有害廃棄物の処理と再生を図る会社) 妻と女の子2人の4人家族



クリスティヌ・M・デベラ

国際的な美容会社、ヘアサロンを経営。有機生化学のコンサルタント。独身



フェルナンド・ストロング・パスクワ

人的資源&教育訓練専門家  
ラジオ・ミンナダオのWKCでアナウンサーとして勤務。教育訓練の専門科としても活躍。既婚



エメラルド・オデッサ・B・エスクエタ

ホテル宴会部門販売責任者  
フィリピン日本文化学院の日本語奨学金に応募して、1年間日本語集中講義を受けて日本には2度訪問。独身



シャロン・リベラ

法学士 弁護士兼教授  
フィリピン大学のマスコミ学部でジャーナリズムを専攻、弁護士試験に合格。独身



ドンドン・R・エデザ

専門治療&診断病院院長  
正看護師の資格があり、更に医学部に進んで医学博士に。現在は大学の医長であり、又看護学部の講師。独身

が認識されました。

第10グループ、第11グループ各クラブから奉仕活動の現況発表があり、全体的に①障害者、高齢者への支援と慰問、②青少年との交流、③環境に係る「巣箱づくり」「ロータリーの森」「公園、海浜の清掃」など各クラブ各様の発表がありました。

全般的には、各クラブとも継続事業の多い姿が見受けられました。

問題提起としては次の3点が挙げられました。

1. 金銭的あるいは物質的な奉仕に対する疑問
2. 会員の減少による予算的、人的奉仕の限界
3. 価値観の変化の対応した社会奉仕

結びに当たり対木委員長より。

- 1) 効果的な奉仕プロジェクトとは。
  - ・プロジェクトの選択
  - ・プロジェクトの計画
  - ・広報活動
  - ・資金計画、募金活動
  - ・結果の評価
  - ※特に継続事業については、3年周期で見直しを掛け、事業として良いとするなら継続、反するならば中止し別の事業への転換。
- 2) プロジェクトとしては、ひとつの切り口として。
  - ・都市問題・環境保全・人口問題・保健・障害者に対して奉仕
  - ※あくまでもクラブ内で地域に密着した活発な議論が大切である。
- 3) 地区委員会の今後の活動予定の説明

## クラブ活動 紹介

徳物葉子  
(札幌はまなすRC)

10月1日、台風本道に上陸直前の不気味な静けさの中、恒例の石狩浜清掃を実施致しました。

参加者12名でしたが、海岸を背に、横列を組み片っぱしからタバコの吸いながら、あき缶、何に使ったのか古い廃材の様なロープ、針金等をゴミ袋に手際よく集め、所定の場所へ集めました。



また、不燃、可燃の分別をし、1時間程で終了させ、爽やかな汗を流しました。

それからというもの、道に行く時少しのゴミを目にすると、拾いたくなる衝動にかられ、失笑するこの頃であります。

それから移動例会を石狩浜番屋の宿にて行い、最後にゆっくりチョコレート色のモール温泉に身を沈め、そして台風の豪雨の中、家路に着きました。

## 月を見ながら、 親睦の和を



柴田晴史 (七飯RC)

七飯RCの合同観月会は、第10・11グループの親睦を目的として始まったようである。

当クラブの20周年記念誌を見ると、1986年(昭和61年)9月16日に

第1回が第10分区合同例会として行われた。前年度の昭和60年9月10日に当クラブ石井鉄弥会長が同じ10グループの森RCに訪問の際、森、長万部RCとの3クラブで親睦合同例会を実施して欲しいとの要請があった。

1986~1987年度の地区ガバナーは札幌北RCの三浦祐晶で、第10分区代理は森RC村上栄一、当クラブの会長は美村文雄、幹事は西谷雅行と記されている。



第1回目の会場は、当RCの会員であった石井鉄弥会員が経営する石井観光農場で行われ、長万部RCから3名、

森RCから20名、函館RCから3名、函館亀田RCから3名、合同事務所から2名、総勢50名で行われた。

翌年、昭和62年の9月には地区大会などがあり、10月26日に月見の会合同例会として交換学生を交えて行っていた。3年目も10月末に行い郊外クラブの親睦の和が硬いことを再確認させられたのである。

1997年9月30日には10・11分区合同観月会として行われ、市内、郊外クラブの会長、幹事を始め、各会員、合同事務所の方を含め70名位の出席で行われ、他クラブではついでに移動例会も兼ね100名もの会員で行われた年もあった。



今年度は9月17日火曜日の午後6時30分から8時まで行い、遠藤哲二ガバナー補佐を始め各会長さんから一言、交換留学生からも挨拶を一言いただき、スキヤキを食べお酒を飲みながらゲームをし、最後に手に手つ

ないで終わりましたが、尚一層親睦の和が硬くなった様子を写真を見て想像してください。

当クラブは創立当時から夜間例会で行っておりますので、最高の親睦会と思っておりますし、今後も末長くつづけてまいります、当クラブの大事な行事でもありますから。

## フリーマーケットに 参加



中野孝一 (苫小牧東RC)

9月8日(日)苫小牧市若草町にて開催されたフリーマーケットに苫小牧東RCの社会奉仕委員会(菅野嘉一委員長)を中心に新世代活動推進委員会(高井昌機委員長)環境保全委員会(田中彰委員長)のメンバー12名が参加した。

1カ月前から会員の善意の出品物を募集し150点に及ぶ物品を販売した。

当日は晴天に恵まれ大勢の買物客で賑いクラブが出品した販売品が飛ぶように売れ午前中のうちに完売となった。



売上金は総額で119,198円となり、その全てを苫小牧青少年少女合唱団設立資金として「新世代のための音楽プログラム企画委員会(今野陽三委員長)」の活動に役立ててもらうため寄付をすると言う。

毎度有難う御座います。

結納・法要・寿し・天ぷら・うなぎ  
折詰料理・その他御注文に応じます。



寿司の松よし

札幌市西区  
西野2条9丁目

☎662-6411

# 骨髄バンク支援チャリティーバザー開催

月信担当地区幹事 竹原 巖（札幌北RC）

札幌北RCの大西忠男会員は、骨髄バンクへの支援活動のチャリティーバザーを10月6日（日）に開催いたしました。

このチャリティーバザーは3年前からはじめ、きっかけは大西会員のご息子が大学入学直後に重い白血病にかかり、3年間の闘病生活の後無事回復し社会に復帰することが出来ました。そのとき、日本には毎年約6,000人ものが重い血液の病気になり、そのうち2,000人が骨髄の提

供を待ち続けていることを知りました。

この人たちに適合するドナーを見つけるためには、ドナー登録者30万人が必要とされています。奥さんやご家族と相談し、一人でも多くの患者さんの手助けになれば良いという思いから、大西会員は支援活動のためのチャリティーバザーを始めることにしました。知人や友人からタマネギやジャガイモなどの農産物、また地域の人達から日用品等の提供を

受け、大西会員の経営する大西電気工業(株)の駐車場や会社で、地域の広報紙を通じて呼びかけを行い販売し、売上金を骨髄バンクへ寄贈するのです。10月6日のバザー当日には元患者さん3人と、(財)骨髄移植推進団体から事務局の方もお手伝いに見えられ家族と社員も参加して、チャリティーバザーは成功しました。また骨髄バンクへの理解に役立つことが出来ました。



## 活動の紹介を！

ロータリークラブの会員の皆様の中には、個人の奉仕活動をされている方が大勢いらっしゃると思います。ロータリーには従来より「隠匿を美」とする習慣があるやに思われますが、『月信』や『ロ

ータリーの友』を通じて、会員に紹介することも必要なことと思います。それらの活動を知ることにより、奉仕の輪がより大きくなり、自分自身の活動のヒントや刺激になる事もあるからです。

本人から披露しにくい場合も有ると思います。その時は他の会員から『月信』に投稿いただき、ご紹介をお願いします。

## ゆとりのある空間と時間をお届けいたします

- 客室292室
- ショップ
- コンベンションホール
- ウェルネスクラブ
- レストラン・バー

### ロイトン札幌

TEL 011-271-2711

〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目

URL <http://www.daiwaresort.co.jp/>



## 財団の寄付について



川田憲秀 (白老RC)

「ジャパン アズ ナンバーワン」の時代が終わったのですから、香港と首位を争う経済環境ではないと考えます。しかしながら、ガバナーの決意も国際ロータリークラブに報告済みであり、精一杯の努力は欠かせません。日本の各地区の目標は年間・一人 80ドル位ですから、一回の例会で一人当たり200円~300円となり、楽しい企画を工夫しながら出来たら素晴らしいと思います。

これも、カナダのクラブでは、財団アワーとして、たのしいクイズをつくり、それを会員に答えてもらい、正解でも2ドル・不正解は4ドルなどと、たのしく無理なく集めていたようです。なにせ、私の英語の理解力が弱く悲しいものがありますが、ジョークも絡めての設問に、出席会員が歓声を上げながら、楽しい雰囲気は伝わりました。各クラブにおいて、工夫が必要と思います。

私の所属する白老クラブで実験してみました。たいへん、好評でした。一人当たり一年間に、10,000円くらいといいますが、50名の会員だと50万円・80名だと80万円となると、クラブの財政としては高額すぎると思います。

地区として、財団に寄付をすると、三年後には60パーセントが戻ってきていました。今後は50パーセントになるそうです。国際ロータリークラブの資金の使い方も透明性を欠くものらしいと聞き及んでおります。国際ロータリークラブの職員が国連の職員のようにないことを祈るばかりです。反面、米山奨学金の制度は透明性が高く、意識を高くし

ていきたいと考えます。



## He profits most who serves the best

中川喬雄 (札幌手稲RC)

私の職業分類は米穀小売業(米屋)で、ロータリー歴17年になります。

7年前、食糧管理法が廃止され、規制緩和が導入されました。米業界はスーパー、量販店の新規参入により価格競争が続いていて、通常の仕入れ価格より安く販売されています。

生産現場でも輸入米による過剰在庫で、度重なる減反にかかわらず生産者米価が大幅に下落し、25年以前の価格です。

再生産はもとより、労働費も出ない状況ですので、作れば作るほど赤字が増えます。

専業農家の多い北海道は借金をして規模を拡大した稲作農家が多く、急速に離農が続いています。少しでも赤字を減らすべく、農家は生産したお米を農協に出荷せず消費者に直接販売することで生き残りをはかっています。米穀卸も小売店も大幅な売上減と利益率の圧縮で倒産、廃業があいつぎ米穀業界は壊滅の状況です。

職業奉仕の黄金律である『最も良く奉仕する者、最も多く報いられる(He profits most who serves the best)』は一見矛盾そのものに見えます。私自身、入会時には「一番多く奉仕した者が、たくさんの利益を得て金持ちになれる」なんてまったく理解出来ませんでした。

しかし、職業奉仕の第一歩はその道の専門家でなければならない。米作りの現場をもっと勉強しよう。生産地をまわり生産者と交流することで「農業の本質は自然との共生であ

って、命を育む糧を生産する」ことだと学びました。

農薬、化学肥料多投の近代農業は土壌を死滅させ、砂漠化、環境破壊につながります。特に農薬の大量使用は、食物連鎖を繰り返し、数千万倍に濃縮され環境ホルモンとして野生生物に生殖異常を起こし、多くの種が絶滅しています。

全国各地の著名な先生の講演を聴き、本を読むことによって、環境問題、有機農業の大切さ、農業を軽視した多くの国家が減んでいる歴史を学びました。そして農業が国家の基本であること、食の基本は身土不二であること、食糧自給率を高めることが絶対に必要だと確信しました。



社会奉仕委員会担当例会での卓話—  
「慈愛の種を播きましよう」—  
佐々木実 (深川RC)

今日は四大奉仕部門の一つ「社会奉仕委員会」の受け持ちであり、松本委員長の暖かい、優しい厳命を受け、私がお話することになり、待ちに待ったイヤな例会日であります。

昭和55年5月28日、東京日比谷公会堂での全国市議会議長会での1900名を前にしての陳情。つぎは平成11年3月10日議員としての最後の一般質問。議員生活35年間の最後の演説でありました。そして今日の卓話はベスト3に入るものであります。

去る7月13日、滝川で2510地区の第1、第2、第3グループの社会奉仕委員が召集され、15クラブ47名の出席者がありました。初めての試みであり、主旨説明、過去3年間の地区内クラブの社会奉仕のビデオ上映、各クラブの取り組み等の発表があった情報交換会でありました。ニコニコボックスを社会奉仕に使うクラブ



が出てきたという事が収穫でした。

本年度の重点目標の一つ目は「家庭に慈愛の種を播きましょう」であります。家庭に対する愛情表現はオヤジは下手であります、例会に出席するのも、家庭の理解があればこそと思って、家庭に慈愛の心を持っていきたいと思えます。最近、笑わない、活気のない、表情のないサイレントベイビーが増えているという、ショッキングな報告が出されました。笑いこそ人間に与えられた特権であります。笑いを忘れて生きていくのは、人生にとって大変なことです。子供達は、世界の未来の宝であり、大切な絆である事を思い、来年の2月4日からの一週間、「家族週間」と名付けて、家族の大切さを説き、家族に感謝をする週間ですが、一週間といわず、毎日が家族への感謝の心を持って、例会日を家族との会話と感謝する日としたいのであり

ます。

二つ目に「クラブに慈愛の種を播きましょう」であります。素直に語り合い、親睦を深めましょう。挨拶は人の心を和ませるものであります。相手を思いやり、相手の立場を考えての話や挨拶が大事であります。平成10年から、シェイクハンド＝握手をしていますが、親睦の和が広がっていくのを感じます。

三つ目に「職業を通して慈愛の種を播きましょう」です。ロータリーの心で、職場の仕事に取り組み、自身の仕事の道徳的水準を高め、業務を品位あらしめるものとあり、働く人の思いやりのある、暖かい心を示すものと言われます。素晴らしい四つのテスト、これを家庭と職場と二枚、印刷配布を今年重点目標と考え、委員長さんをお願いしたいと考えています。

四つ目は「国際社会に慈愛の種を

播きましょう」であります。地方に住んでいてもロータリー財団に貢献できるのであります。チューリッヒのホテルの下にロータリーの部屋がありました。議員バッチでは例会場に入れませんが、ロータリーのバッチがあれば入れます。こんな値のあるバッチはないと思えます。ロータリーは一生懸命やる事で自分のものになっていきます。4つのテストを家庭や職場で実践して頂きたいと思えます。私は1週間に1回例会に出る事が楽しみなのであり、孤独な中であって、ロータリーは唯一の心の安らぎなのであります。2005年のロータリー100周年までは越智会員と共に頑張ろうと思えます。初めてロータリーの例会場に足を入ってから35年が経ちましたが、更に頑張ろうと思えます。(付記：佐々木会員は35年間皆勤のロータリアンです)

## 事務所だより

- 今月は地区大会（16・17日）が開催されます。クラブ幹事の皆様には登録受付をよろしくお願い致します（クラブ単位で行います）。
- 地区委員会及び各クラブの催事予定がありましたら早めに事務局へご連絡下さい。
- 今月は地区大会開催月のため、事務局への問合せ、報告等は、早めをお願い致します。
- 毎月の出席報告の提出が大変遅れておりますので、最終例会終了後15日以内厳守でご提出下さい。

## 掲示板

### ○ 幹事代行について

#### 留萌RC

鈴木幹事の健康上の理由により、行徳幸治会員が幹事代行を務めます。

行徳幹事代行連絡先：〒077-0045留萌市本町4丁目 株行徳石材

TEL (0164) 42-0847 FAX (0164) 42-8766

### ○ 例会変更

#### ● 苫小牧東RC

11月14日(木)

親睦委員会夜間移動例会「そば打ち体験教室」  
場所 ふれあい3・3（若草町市民活動センター）

#### ● 小樽南RC

11月8日(金)

午前6時30分 点鐘

場所：真正寺（長橋2丁目15-8 tel 0134-22-7346）



# ワークショップに参加しよう!!

今年度当初、月信8月号にも書いたように「ワークショップへの参加を地区全会員の自由参加で、特定のテーマについて議論を深めましょう」ということを申し上げた。その後、ワークショップとはどういうことなんだ。講演会と違うのか、シンポジウム、セミナーとも違うのか、といった質問を頂戴した。

ワークショップとは集まる人が同じ目線で話し合うだけでなく、そこから何か一つ新しいものを作りだしていくことを言っている。中野民夫氏がワークショップと題して岩波新書に書いた次の文章を引用させていただく。

「ワークショップ」とは、まだまだ聞きなれない言葉かもしれない。もともとは「共同作業場」や「工房」を意味する英語だが、ここ数十年の間に、「先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなくからだやこころを使って体験したり、相互に刺激しあひ学びあう、グループによる学びと創造の方法」として欧米から世界中に広がってきた。

(中略)

環境、教育、社会不安、人権、平和、経済不況、どれをとっても問題が複雑かつ広く絡みあっていて、単一の原因がはっきりあるわけではない。明快な唯一の解決策もない。こんな問題を前に、ひとつの正解や確かな道を示せる専門家などありえない時代だからこそ、私たち一人ひとりが、あきらめたり、孤立したりしないで集いあひ、問いあうことが大切だ。「どうしたらいいのだろう?」「何ができるのだろう?」と、お互いにそれぞれの経験や知恵を出し合って学びあひ、身近なところから一步一步試行錯誤しながら歩いていくこと。

その時、楽しくなければ、魅力がなければ、続かない。「～すべき」「～しなければならない」などと上から倫理的に押しつけられても、反発したり、頭で納得したつもりでもからだ動かさなかったりする。説教や正論はもうたくさんだ。現代社会で何が問題なのかという「テーマ」については出尽くしている。今は、これからどう取り組んでいったらよいかという「方法」こそが求められている。人にとっての根源的な喜びを内在した魅力的な方法が求められている。

ワークショップは説教臭くない。ワークショップは楽しい。ワークショップはわくわくする。ワークショップは感動と出会いがある。ワークショップは希望と勇気を生み出す。ワークショップにはやすらぎや癒しもある。ワークショップには創造と喜びがある。



**Sheraton Sapporo**  
HOTEL

シェラトンホテル札幌

〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 (JR・地下鉄新札幌駅となり)

TEL 011-895-8811

パソコンでも携帯でも [www.sheraton-sapporo.com](http://www.sheraton-sapporo.com)

**感染症とがん**：むかしから北アフリカ（特にエジプト）から西アジアにかけて膀胱がんが多いが、これが住血吸虫という寄生虫の感染によることが最近わかってきた。さらにタイ北部（一部シベリアでも）に多発する胆管がんはある種の肝吸虫類（ヒル）によって起こることもわかってきた。

1950年代になって、マウスなどの小動物の乳ウイルスが発見され、引き続きある種のヒトのがんのウイルス説がもっともらしくなってきた。ところが最近、今までほとんど振り向きもされなかったがんの細菌説がにわかに注目されるようになった。ヘリコバクター・ピロリ菌が発見されたからである。

このように時代の変遷とともに、次第に解明されてきたのは、がんは「ウイルス」によって起こるだけでなく、「細菌」によっても、また「寄生虫」によっても起こり得るということである。上の3つの起因体は本来お互いに無縁で、大きさも実態も全くかけ離れた存在である。それでは何がこの3つのものをがんにつなぐかということ、そこで考えられたのがそれぞれの因子によって起こる「感染」の結果としての「炎症」ではないかということである。慢性炎症を放置すると炎症性細胞から出される活性酵素が近くの細胞の遺伝子を傷つけがん化にかかわるらしいのである。



連絡先：(財)札幌がんセミナー

札幌市中央区大通西6丁目6 北海道医師会館6階

TEL：011-222-1506/FAX：011-222-1526/E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp/URL: <http://www.phoenix-c.or.jp/scs-hk/>

広告

# 9月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例回数	会員数				出席率	
			02.7.1	02.9.31	増減	内女性		
1	深川	3	46	45	-1	2	86.31	
	羽幌	4	47	47	0	1	83.69	
	妹背牛	4	12	12	0	0	79.16	
	小平	4	15	17	2	1	69.11	
	留萌	3	69	70	1	0	90.35	
小計			189	191	2	4	81.72	
2	赤平	3	37	37	0	1	89.04	
	芦別	3	60	60	0	0	96.87	
	砂川	3	61	61	0	0	94.09	
	滝川	4	108	112	4	2	73.50	
	小計			266	270	4	3	88.38
3	美唄	4	48	48	0	0	87.22	
	江別	4	50	50	0	2	90.02	
	江別西	3	41	42	1	3	93.90	
	岩見沢	4	97	104	7	0	87.23	
	岩見沢東	3	33	34	1	3	91.18	
	栗沢	3	35	34	-1	2	83.56	
	栗山	3	34	35	1	2	92.04	
	当別	3	46	47	1	0	92.02	
	小計			384	394	10	12	89.65
	札幌	3	120	126	6	0	93.36	
4	札幌あけぼの	4	19	19	0	1	100.00	
	札幌はまなす	3	29	29	0	4	89.66	
	札幌北	3	58	58	0	7	94.15	
	札幌モーニング	3	61	63	2	0	77.42	
	札幌西	3	75	78	3	2	90.90	
	札幌西北	4	52	55	3	2	91.12	
	札幌手稲	4	52	52	0	0	99.02	
	小計			466	480	14	16	91.95
	札幌東	4	123	126	3	0	98.47	
	札幌清田	3	26	27	1	5	94.00	
5	札幌幌南	4	88	86	-2	0	99.70	
	札幌真駒内	3	50	51	1	2	96.90	
	札幌南	3	97	98	1	0	98.87	
	新札幌	3	42	43	1	2	91.07	
	札幌大通公園	4	17	19	2	5	75.27	
	札幌セントラル	4	0	23	23	7	93.47	
	小計			443	473	30	21	93.47
	岩内	4	37	37	0	0	62.83	
	倶知安	4	54	54	0	4	81.00	
	小計			96	94	-2	0	90.75
6	小樽南	4	86	88	2	0	82.92	
	小樽銭函	4	20	20	0	2	84.00	
	蘭越	3	18	18	0	0	75.00	
	余市	3	49	49	0	4	86.95	
	小計			360	360	0	10	80.50

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,461人*
当月末会員数(女性)	3,528人(101人)
増加会員数	67人
当月平均出席率	84.46%

グループ	クラブ名	例回数	会員数				出席率	
			02.7.1	02.9.31	増減	内女性		
7	千歳	4	74	74	0	2	88.10	
	千歳セントラル	3	33	35	2	0	81.90	
	恵庭	4	50	49	0	0	79.78	
	北広島	3	16	16	0	2	90.00	
	長沼	3	18	18	0	4	80.50	
	小仁	4	18	18	0	1	83.30	
	小計			209	210	1	9	83.93
8	えりも	4	27	27	0	0	72.22	
	三石	5	20	19	-1	1	93.22	
	様似	3	24	25	1	2	82.30	
	静内	3	68	68	0	0	88.28	
	浦河	3	44	40	-4	1	89.89	
小計			183	179	-4	4	85.18	
9	伊達	3	53	55	2	0	77.23	
	室蘭	4	66	68	2	0	81.68	
	室蘭東	3	56	56	0	1	90.55	
	室蘭北	3	52	52	0	2	78.38	
	登別	3	40	40	0	2	82.50	
	洞爺湖	4	14	14	0	0	100.00	
	小計			281	285	4	5	85.06
10	函館	4	101	105	4	0	74.52	
	函館亀田	3	51	52	1	1	80.39	
	森	3	51	51	0	0	81.00	
	七飯	3	33	32	-1	0	82.10	
	長万部	3	11	11	0	0	75.70	
	小計			247	251	4	1	78.74
	江差	4	20	20	0	0	65.00	
11	函館五稜郭	4	71	73	2	0	79.76	
	函館東	5	67	68	1	6	76.82	
	函館北	3	46	50	4	0	76.06	
	上磯	4	34	34	0	3	72.00	
	小計			246	253	7	10	73.11
	白老	3	34	34	0	1	82.00	
	苫小牧	4	68	65	-3	0	83.16	
12	苫小牧東	5	33	33	0	3	74.99	
	苫小牧北	3	52	50	-2	2	87.22	
	小計			187	182	-5	6	81.84
	合計			3461	3528	67	101	84.46

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	ポール・ハリス・フェロー
相沢 芙栄 会員(1) 6月29日 (札幌北RC)	廣瀬 保男 会員 6月29日 (小樽南RC)
山光 進 会員(1) 7月23日 (札幌東RC)	渡辺 劭 会員 8月16日 (岩見沢東RC)
坂東 宗一 会員(2) 7月23日 (札幌東RC)	小林 博 会員 6月29日 (札幌北RC)
伊藤 崇 会員(5) 8月9日 (深川RC)	小林 幸子様 6月29日 (札幌北RC)
小笠原 孝 会員(6) 8月23日 (函館北RC)	近藤 敦 会員 7月31日 (新札幌RC)
菊地 章 会員(1) 8月23日 (札幌東RC)	
森本 正夫 会員(4) 8月23日 (札幌西北RC)	

### 訃報

外川恒正 会員  
(砂川RC)

2002年7月2日ご逝去  
(享年75歳)



《ロータリー歴》  
1970年1月13日入会  
チャーターメンバー  
1970~1971 ロータリー情報委員長  
1975~1976 職業奉仕委員長  
1982~1983 副会長  
1983~1984 会長

・米山功労者  
・ポールハリスフェロー

### 訃報

菅原俊行 会員  
(室蘭東RC)

2002年9月30日ご逝去  
(享年69歳)



《ロータリー歴》  
1986年9月 入会  
1988~1989年 親睦活動委員長  
1989~1990年 副幹事  
1990~1991年 幹事  
1992~1993年 プログラム委員長  
1993~1994年 国際奉仕委員長  
1995~1996年 副会長・クラブ奉仕委員長  
1996~1997年 会長  
1997~1998年 ロータリー情報委員長  
1999~2000年 雑誌委員長  
2002~2003年 ロータリー財団委員長  
1991年 ポールハリスフェロー  
2002年 14年間100%出席

### 訃報

朝倉瑞秀 会員  
(苫小牧北RC)

2002年8月22日ご逝去  
(享年71歳)



《ロータリー歴》  
昭和58年 入会  
1986~87 出席委員会 委員長  
1988~89 奨学委員会 委員長  
1991~92 会員選考委員会 委員長  
1993~94 会計  
1994~95 会報雑誌委員会 委員長

・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
・ベネファクター  
・米山功労者

### 国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度 ガバナー月信

発行人 2002-2003年度ガバナー 小林 博  
発行元 国際ロータリー第2510地区  
2002-2003年度ガバナー事務所  
発行日 毎月1日発行 年12回  
編集委員 ◎竹原 巖 (地区幹事) 委員長  
大田すみ子 (地区幹事)  
熊谷 満 (地区幹事)  
脇田 稔 (地区幹事)  
米山道明 (アドバイザー)  
松木 新 (アドバイザー)

事務局 札幌市中央区大通西6丁目  
北海道医師会館6F  
TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526  
E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp

# 11・12月地区カレンダー

11月 ローターリー財団月間行事			12月行事		
日	曜日		日	曜日	
1	金		1	日	ロータリー研究会 (大阪)
2	土		2	月	
3	日		3	火	
4	月		4	水	
5	火		5	木	
6	水	インターアクト週間 (11/5を含む週)	6	金	ロータリーの友座談会 (東京、12:20) ガバナー出席
7	木		7	土	
8	金		8	日	青少年交換委員会
9	土	ローターアクト地区協議会 (赤平) 地区大会記念囲碁大会 (日本棋院北海道本部囲碁会館、11:50)	9	月	
10	日		10	火	札幌セントラルRC公式訪問 (札幌プリンスホテル、17:00~)
11	月		11	水	
12	火		12	木	
13	水		13	金	
14	木		14	土	
15	金		15	日	
16	土	地区年次大会 (北海道厚生年金会館、13:00~)	16	月	
17	日	地区年次大会 (北海道厚生年金会館・ロイトン札幌、9:00~)	17	火	
18	月		18	水	
19	火		19	木	
20	水	GSEさよなら会 (19:00~)	20	金	
21	木	第3830地区GSEチーム帰国 (JL562、14:25)	21	土	
22	金		22	日	
23	土		23	月	
24	日	ローターアクトクラブ交流会 (釧路)	24	火	
25	月		25	水	
26	火		26	木	
27	水		27	金	
28	木		28	土	
29	金		29	日	
30	土	ロータリー研究会、ガバナー会 (大阪) ガバナー・エレクト研修セミナー (大阪)	30	月	
1	日		31	火	

ピチャイ・ラタクルRI会長の説かれる愛。  
わたしの主張するフレンドシップ。  
そして、ヒトと環境の調和。

吉本 勲 (深川RC)  
神経科吉本病院  
TEL 0164-22-7130 (代)

広告